京城日報

廿六日夕刊

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

汽車時間表（七月十日改正）

◎蒙匪破竹の勢 大擧洮南を屠らんとす

確かなる筋への情報に據れば蒙匪二千破竹の勢にて突然懸城に肉薄し吳統領派遣の討伐軍は衆寡敵せず終に懸城を抛棄するの已むなきに至り蒙匪の勢頗に揚り今や大擧して洮南を屠らんこと危機旦夕に迫れり（大連特電）

◎支那の最痛心する所財政

某大官曰く南北統一は着々進行し國會の召集も一週間後に迫れるが政府が最も痛心するは財政方面にして各機關は專ら節約を事とするも一箇月三、四百萬元の經常費を要し議會開會の曉には議員の俸給のみにても五、六萬元を要すべし而して之に對する財源は外債に依るの外なく過般來日本に對し三千萬元の借款を申込み居れるが未だ具體的の交渉を遂げざるも日本政府も考慮中の模樣にて或は林公使着任迄には何とか片付くならん云々（北京特電）

◎獨皇太子飛行機に乘る

アムステルダム來電に據れば獨逸皇太子は飛行機に乘じ十五分間ヴェルダンの佛軍陣地を視察したり（桑港電報）

◎獨驅逐艦隊英船に逐はる

若干の英國警備船は白耳義沖に於て六隻の獨逸驅逐艦を破り之をジーブルージュに追込みたり（桑港電報）

◎大隈首相參内

大隈首相は二十六日朝國府津より歸京直ちに宮中に參內せり（東京電報）

◎重要閣議

二十六日午前十時永田町の首相官邸に於て閣議を開き內外重要政務に就き協議する處ありたり（東京電報）

◎大山元帥歸京

政界の風雲急なるの時那須野の別莊にありし大山元帥も歸京せり（東京電報）

◎寺內總督動靜

寺內伯は二十五日午前七時四十三分逗子着列車にて下車し直ちに人力車を驅つて平田子を其の別莊に訪ひ玄關より入らずして庭先より廻り往き折柄庭內逍遙中の子爵と手を携へて海岸に至り散歩がてら密談する所ありやがて引返し二階十疊の間にて人を遠ざけ密議數刻に亙り午餐を共にしたる後午後零時同邸を辭し午後二時國府津着列車にて箱根に歸る途中小田原古稀庵に山縣公を訪ひ會談一時間半に亘り午後四時富士屋ホテルに歸れり（東京特電）

◎元老會議乎

松方侯鎌倉より歸京せり不日山縣公の上京を俟つて元老會議開かるゝ事となるべしと觀測さる（東京電報）

◎南滿割讓と撫順炭

從來北滿地方に於ける燃料は東清鐵道を始め各工場及び暖爐裝置に到る迄一切薪を使用せし爲め石炭の需用甚少なかりし處明治四十一年頃本溪湖炭初めて輸入されたるも炭質適せずして賣行かず翌四十二年春撫順炭を試賣したる處購買者の氣受よく爾來年々其販路擴張され哈爾賓に於ける露國人經營の各工場より松花江沿岸各地方に於ける支那人の燒酎、電燈、油房、製材等各工場に要する燃料は一切木材の代はりに撫順炭を用ふるに到り年々驚く可き需用額の增加を示し大正四年度には終に十餘萬噸に達し滿鐵會社は鑛業課出張所を哈爾賓に特設するに至り哈埠は將來最も有望の撫順炭仕向地として矚目されつゝある處過般東清南線の割讓に依り今後滿鐵は撫順炭販賣の外其運賃に於て多大の利益ある可く而して此運賃上の利益を割きてそれ丈け市價を引下ぐる時は更に需用を增大し今日迄猶露式に捕はるゝ木材使用者も蠢く石炭使用者となる可く撫順炭は終に北滿燃料界を統一するに到る可しと

◎帝政嫌疑夥多

帝政元兇八人は未だ一人も捕縛されず北京政府は南方より詰問を受けつゝあるが猶政府消息通の言に據れば帝政嫌疑の在職者は約二百餘人あり即ち國務院二十一人、外交部五人、內務部四十三人、陸軍部六人、海軍部三十七人、司法部二十八人、交通部十五人、財政部十餘人、教育部二人、農商部十三人、參謀本部三十三人にて此內罪名重き者のみ辭職せしめ其餘は一切寬宥する方法なりと云ふも將來必ず南北間の問題たる可しと（北京）

◎內務部長官告辭

京城中學校附屬臨時教員養成所第一回第二回卒業生講習會は二十五日京城中學校に於て其の開會式を擧行せること既報の如し、同講習會は一種の教員召集とも目す可きものにして之に依つて平素勉學の模樣を檢し將來の攷學に對する基礎を固め方法を授けて以て今後益々教育界に活動せしむることを主眼とす、從つて將來適當の時機に於て更に其の開會を見る可し、講習會開會式に於ける宇佐美內務部長官の告辭は此の間の消息を盡して遺憾なきを以て左に之を載錄す可し

告辭

臨時小學校教員養成所卒業生の爲に講習會を開催するに當り茲に一言して其の旨趣の存する所を明にせんとす

抑京城中學校に臨時小學校教員養成所を附設し特に諸子を敎養せる所以のものは諸子をして能く朝鮮諸般の事情を了得して在鮮內地人子弟の敎育に當らしめ以て帝國の發展に資すべき忠良なる國民を育成せんとするに外ならず而して諸子の多くは中學校卒業後當養成所に於て一年間師範教育を受け教育者たるの素養を得たりと雖も教育の事たる終身研鑽修養するも尙足れりと謂ふべからず殊に年齒未だ少く經驗尙淺き者に於ては只其の足らざるを以て常に自ら念とするの覺悟あるを要す況んや我が國に於ては一旦師範教育を卒へ又は教員檢定試驗に合格せんか直に相當の資格を得而も一度資格を得んか終身其の効力を有するを以て動もすれば往々研究向上の意氣を失ひ久しからずして所謂老朽に陷るの弊あるに於てをや殊に朝鮮各地の事情は壯年教育者の研學に便ならず又頗る修得に困難なるものあり故に在學中未だ確乎たる素地を得るに至らずして一度任に就かんか早くも新進の氣魄衰へんとし又は其の品性を墮落せしむる恐れなしとせず是れ本府の最も憂ふる所にして斯の如くんば將來の進歩を期待すること難く邦家に貢獻する所甚だ少かるべし依て今回新に諸子を召集して平素疑問とする所を解決するの機會を與へ研學の基礎と其の方法とを會得せしむると共に講習中の成績は特に之れを將來考科の參考に資するのみならず向後再び諸子を召集して受講せしむるの期あるべく愈々實力を修養して年と共に進歩せしめ徒に年功卒業年次若は試驗合格の前後等に依り諸子の地位を上下するか如きことなからしめんとす本府が朝鮮教育の爲に諸子に期待する所頗る多く望を囑するや實に切なるものあり諸子須らく其の責任の重大なることを自覺し僅々一ヶ月間の受講を以て滿足すること無く歸任の上は益々常に公務を勵み研鑽に努め最も思ひを德性の涵養に致し以て朝鮮併合の旨趣を徹底し邦家の隆昌に資するの至誠と自任あるを要す

本官は講師各位に對し炎熱の候殊に夏季休業中に於て講演せらるゝの勞を深謝すると同時に併せて各位が徒に在來の講習形式に拘泥することなく能く講習員平素の勉學と相連絡して攷學の趣味を養ひ又其の方法を會得せしめ以て一層向上の機運を促し人格の修養に得る所あらしめむことを切望す

◎中井博士北行

過般入京せる總督府囑託理學博士中井猛之進氏は二名の山林課雇員を從へ廿六日午前九時三十分南大門驛發汽車にて元山に向へり氏は金剛山を中心とし江原、咸南兩道の植物に關する調査を爲す筈にて九月十二日頃京城に歸還數日滯在の上歸東す可しと

◎全南長官入京

全羅南道長官宮木又七氏は二十六日午後九時南大門驛着汽車にて入京天眞樓に投宿したるが氏は兩三日滯在總督府に對し過般の水害狀況報告並に其の處分に就き協議打合せの上賜暇歸省す可しと

◎芳賀院長水原行

總督府醫院長芳賀博士は二十六日午前八時半發列車にて水原に出張し午後歸京す

◎和田課長歸任

慶南巢勤地整理及び土地調査地方委員會に列席の爲め晉州馬山方面に出張中なりし和田土地調査局總務課長は二十五日歸任せり

◎東京府部長來鮮

東京府內務部長岡田忠彥氏は八月一日東京發朝鮮滿洲を視察し浦鹽に出で歸京の途に就く豫定なりと

◎恒例隊署長會議

京畿道警務部にては二十六日午後一時府內憲兵隊警察各隊署長を召集し恒例隊署長會議を開催し前會に引續き印刻及び印刷營業者取締規則朝鮮營業者取締規則及び興業營業者取締規則案に付き協議する所ありたり

◎巡査補入所式

今回警務總監部にて募集せる巡査補四十五名は廿六日午前十時警官練習所に入所式を行ひ警務總監部よりは總長代理として永谷警務課長中野保安課長等出席し永谷警視より一場の訓示ありたり

◎以文會例會延期

以文會にては二十七日午後二時より黃金町貴族會館にて例會を開き故會長朴齊純子の追悼開催の筈なりしも都合により二十九日に延期したりと

◎漢城銀行總會

株式會社漢城銀行は二十五日同行樓上に於て株主總會を開き本年上半期營業に關し諸種の報告ありたる後利益金分配案に付決議を求めたるに原案の通當期純益金六萬三千六十七圓四十六錢前期繰越金一萬七百二十九圓五十一錢計金七萬三千七百九十六圓九十七錢の內六千五百圓は積立金に四千圓は役員賞與金交際費及び行員恩給基金に五萬二千五百圓は株主配當金（年七分の割）に充當一萬七百九十六圓九十七錢は後期繰越金に可決せり尙ほ同行監督役子爵趙重應氏任期滿了に付改選の結果再選重任に決したり

◎輕鐵再度被害

再度の出水被害を蒙り復舊を急ぎありたる全裡輕便鐵道は去る十九日夜來の豪雨にて三度線路の破損を生じ今尙運轉を中止し最大急行的工事を督し居れり

平壤

▲皮疽發生 平南德川分隊々馬二頭皮疽に罹り七月十八日二頭共撲殺したるが原因不明なるが或は朝鮮馬より傳染せしに非らずやと目下調査中▲平壤署の檢病調査 平壤警察署に於ては六月廿日より同三十日に涉り管內檢病的戶口調査を勵行したるが調査戶數內地人二二八八戶人口八七九一人鮮人戶數八四一二戶人口三六六八二人外國人七七人合計戶數一〇七七七戶人口四五七三二人にして內普通病者三九人疑はしき病者二四人なりと

大田

▲石井御用掛 東宮御學問所御用掛石井國治氏は二十八日大邱より來田直に群山に向ふ筈▲松蚪蝪驅除 大田郡にては先般松蚪蝪驅除を行ひたるが尙引き續き私有林に於ける驅除を來る三十日まで行ふ事となり郡廳より係員全部出動監督の筈▲桑苗被害 大田附近の桑苗は數度の豪雨の爲め約三萬本價格五百四十圓の被害ありたり▲通譯生試驗 大田警察署にては二十五日午前八時より鮮人巡査補甲種通譯兼掌者の試驗を行ひしが受驗者三名ありたり

公州

▲講習會開催 忠清南道廳にては夏期休暇を利用し管內各公立小學校同普通學校及び私立學校教員を招集し二十五日より二週間の豫定を以て公立學校教員に對しては一般智識の向上を圖る目的にて講習を開催する事となり二十五日小原道長官第一第二部長以下各關係者臨席の上其の開會式を擧げたり▲定例打合會 忠清南道廳に於ては每週火曜日金曜日を定例重要打合會議日と定め同日午後道長官以下關係者會議室に集り重要事項を會議する事となれり▲腸窒扶斯發生 公州旭町女學生……トラは二十四日腸窒扶斯と決定し直に慈惠醫院へ入院せり

●改良稻種の好成績

平安南道大同郡に於ては昨年來改良籾種の出前の播種を奬勵したる爲め本年は前年に比し著しく增加し普通農家に於ては二十斗落以上播種したるもの少からず中にも大同郡南串面碧只島の如きは一戶百五十斗落の作付を爲し今日に於ては作付養苗共甚だしく熟成し且成績も極めて良好なり

鎭南浦

▲書記長交迭 南浦商業會議所書記長松岡公達氏は今回の新會議所設立と同時に辭表を提出し近く鄕里大分に歸國する事となり其れと同時に新書記長としては元西鮮日報社支配人たりし堤貞吉氏就任し數日前より事務引繼中なり▲水泳場設置 南浦水泳場に就ては每年暑中休暇中に於て飛渡島を水泳場に當て居たるが本年は同所が船舶の繫留場となりたるより使用不可能となり其變更を築港內との議ありしも目下同所は浚渫中なれば數日前より當局者は場所の選定中の處對岸に適當なる場所ありたるより每日滿潮時に稅關ランチにて學生及び一般水泳者を送る事となり廿五日より開始したり▲商工學校起工 中村精七郎氏の寄附に係る南浦商工學校建設の議にて去十六日關係者は府廳樓上に會合府尹立會の上南浦五島榮藏氏が請負ふ事となり平家建二百四坪を二萬一千圓にて數日前より基礎工事に着手し竣工期は十一月下旬也と

仁川

▲商議役員會 仁川商業會議所役員會を二十五日午後一時より開會すべかりし筈の處都合により延期廿六日午前十時より開會せり來り會するもの奥田、丁致國、稻田、河野、田中、崔應三、和田書記長の諸氏にして大正六年度同所收支豫算編成上に就き鳩首凝議する處あり正午過ぎ散會せり▲學務委員囑託 仁川京町丁致國、外里張錫佑、同京町鄭順澤、朱明瑞、栗木里徐內義の諸氏は本月一日付を以て仁川公立普通學校學務委員に囑託せられたり

光州

▲光州武道大會 光州武術會主催の光州武道大會は廿三日午後一時より同會道場に於て開會せられたるが劈頭鈴木會長の開會の挨拶に次で理事の會計報告等ありて愈々演武を開始し數十番の擊劍、柔道、銃劍術ありて終り最後に乃木辨當と薩摩汁の饗應ありて會を閉ぢたるが頗る盛んなりき▲軍人後援會解散 光州出征軍人後援會は今回愈々解散する事となり其評議員會を開きたるが會殘金五百廿五圓八十八錢は百圓を帝國出征軍人後援會に百圓を光州在鄉軍人分會に三百二十五圓八十八錢を光州神社創立費に分割寄附する事となれり▲棉花開花遲延 全南に於ける本年の棉作は雨の爲め被害尠なからず例年開花期迫れる今日漸く蕾を持ちたる有樣にて今冬の收穫期にも影響なきやと當局者は懸念しつゝあり▲宮木長官歸省 宮木本道長官は廿六日朝發一度入京總督府にて事務打合せの上直樣內地に歸省すべし

全州

▲全群道假修 大破を蒙りたる全群道路は假修繕を加へ全裡間の連絡を取るべく辛ふじて自動車の運輸を見るに至り午前午後二回の發車時刻を取り兎に角南滿との連絡に資しつゝあり▲全羅株主總會 全州農工銀行にては去る二十二日第二十回株主總會を開き上半期に於ける損益勘定を諮り次期繰越金を多額に算し一般配當率を前期と同じく八步に止め株主の可決を求め無事閉會せり▲全農の夜宴 全北農工銀行にては閉會當日全州重立官民並に新聞記者通信員等を招き二業に於て盛大の夜宴を張る

人事消息

▲太田三郎氏（朝鮮大連支店長）二十六日朝入京朝鮮ホテルへ
▲阿部安積氏（藤田組技師）二十六日朝退京
▲小林貫氏（伊達家家庭教師）同上
▲楠野俊成氏（沿州府尹）二十六日總督府に出き事務の打合せを爲せり
▲八木奘三郎氏（李王職囑託）北鮮地方出張中の處廿五日歸任
▲佐藤潤象氏（朝鮮鐵道取締役）廿六日朝入京
▲有川寬次郎氏（同經理部長）同上
▲加藤定吉氏（代議士）廿六日朝安東へ
▲櫻井小一氏（仁川稅關長）廿五日夜釜山より內地へ
▲中田保安課長（警務總監部）二十二日より自宅引籠加療中

朝鮮總督府

一、杭木武千七百貳拾壹本
右賣拂ス詳細ハ七月廿八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

賣却廣告

一、拾四ポンドレール 壹哩
右至急廉價に賣却致度候間御希望の方は御申越被下度候
京城太平通一丁目 加比老商店 近藤謙助 電話八三五番

◎歸部

隈本主幹 南鮮地方出張中の處昨夜歸部從前の通り

●性相鑑定 左記依頼に應ず 每日自午前八時至午後六時
大正五年七月廿五日 性相學會 朝鮮支部

◉夏物紺セル洋服 鐵道局拂下品

一等無キズ品 參圓五拾錢 壹組
二等品 貳圓五拾錢 壹組
三等品以下 壹圓五拾錢 壹組迄
其外雨合羽冬絨洋服外套類
和服洋服商 龍山元町二丁目 金子奥市商店
一圓以上小包料無料當店負擔 電話一〇五番

第七十八期貸借對照表

負債之部

科目	金額
諸預金	壹壹、五八九、貳六壹、五壹〇
借入金	貳〇貳、〇〇〇、〇〇〇
他店ヨリ借	壹、六四貳、壹九壹、三八〇
資本金	參、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
諸積立金	七七〇、〇〇〇、〇〇〇
滯貸準備金	貳〇、〇〇〇、〇〇〇
前期繰越金	參五〇、八六參、九貳六
當期純益金	壹五六、六九九、七貳五
合計	壹七、七參壹、〇壹六、五四壹

資產之部

科目	金額
諸貸出金	七、八五六、七七四、六壹〇
割引手形及ビ荷爲替手形	五、五〇四、參壹七、〇參〇
預ケ金	壹九五、參九〇、貳四壹
雜勘定	一、四七三、四七〇
有價證券	壹、參五〇、六〇九、參六〇
他店へ貸	壹、〇九七、參壹四、七四〇
地所建物	六六七、四五八、九貳〇
抵當質物流込物件	壹九、九壹九、〇八〇
本支店間未達勘定	貳九、參八四、六五〇
金銀有高	壹、〇〇八、參七四、四四〇
合計	壹七、七參壹、〇壹六、五四壹

利益勘定

科目	金額
當期純益金	壹五六、六九九、七貳五
前期繰越金	參五〇、八六參、九貳六
合計	五〇七、五六參、六五壹

內

科目	金額
積立金	貳〇、〇〇〇、〇〇〇
賞與金	壹五、六六九、〇〇〇
配當金（年八分）	壹貳〇、〇〇〇、〇〇〇
後期繰越金	參五壹、八九四、六五壹

右之通候也

長崎縣長崎市築町百七番戶第壹號 株式會社十八銀行

頭取 永見寬二
副頭取 松田英三
取締役 高橋守太郎
同 野口孝太郎
同 足立瀧二郎
同 松田精一
監査役 藤瀨宗一郎
同 山田又三郎
同 高見和平

前記ノ各項調査ヲ遂ケ其正確ナルヲ保證候也

十八銀行京城支店
十八銀行龍山出張所

第拾期決算報告（大正五年上半期）

貸借對照表

負債之部

科目	金額
資本金	五〇、〇〇〇、〇〇〇
別途積立金	貳、壹〇〇、〇〇〇
法定積立金	七五〇、〇〇〇
家屋減損積立金	貳〇〇、〇〇〇
繰越金	六七貳、七四〇
有價證券保證金	五、壹〇〇、〇〇〇
當期利益金	貳五、參貳〇
合計	五八、八四八、〇六〇

資產之部

科目	金額
未拂込資本金	參〇、〇〇〇、〇〇〇
家屋	貳、九〇〇、〇〇〇
什器	七貳參、〇〇〇
有價證券	五、壹〇〇、〇〇〇
受取手形	壹八、八貳九、〇五〇
買方勘定	四四貳、五壹〇
當座預金	四四七、壹參〇
現金	四〇六、參七〇
合計	五八、八四八、〇六〇

損益勘定

一金貳千四百七圓六拾錢 當期總益金
一金貳千參百八拾貳圓貳拾八錢 當期總損金
差引金貳拾五圓參拾貳錢 當期純益金
一金六百七拾貳圓七拾四錢 前期繰越金
合計金六百九拾八圓六錢也
此ノ分配案左ノ如シ
一金六百九拾八圓六錢 後期繰越金
右之通ニ候也
大正五年七月廿一日
京城競賣株式會社
專務取締役 池田長兵衞
取締役 三好和三郎
取締役 增田三穗
取締役 小林藤右衞門
取締役 永井新之助
右調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證候也
監査役 釘本藤次郎
監査役 篠崎半助

東洋ボックス拔製編上靴 金三圓五十錢均一
紳士向優良品ボックスカーフ製 第三號
同キットカーフ製編上深ゴム 金四圓均一
一枚皮深ゴム及トンビ形編上靴五十錢增し
右の均一靴は弊店の特製に係るもの故に品質保證す
（定價表御請求次第送呈）
送料一足十五錢 引換料廿五錢 書留料廿五錢 引換料四十五錢
東京本鄕區東片町九二
三倉商會高等靴店（振替二〇五三九）

北海道產 海產物 雜穀 輸出商
小樽區港町本通 大杉商店
電略「ヌス」又ハ「ヲ」

金銀赤銅鐵ニッケル 各種眼鏡用
近視老眼 玉最上特製品
京城本町一丁目 郵便局前 中村眼鏡部
電話千百七十 振替口座三四六

寫眞 出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版
京城日報社 寫眞製版部

水游ぎ……麻浦にて……

宣教師殺し犯人判明
長野市生の洋服職人
警視廳と長野茨城兩警察部の活動

輕井澤の宣教師夫婦殺害事件に付前長野縣保安課刑事は水戸市に出張し二十三日來水戸署と協力し頗る秘密に捜査の歩を進めつゝあるが該犯人と目されしは水戸市上市川見小路洋服商本橋武夫方に雇はれ去月三十日主人の洋服を借着し輕井澤に行くとて立去りたる長野市生れの福島孝吉(三五)と云ひ熱心なる基督教信者にて水戸に來り上市仲町なる基督公會に出入し同教會の宣教師メレデス氏とは餘程懇意なりしが如く同人は水戸に來る前東京本郷或は小石川邊に住居し中央會堂へは屡々出入したりと云ひメレデス氏の前任地は前橋にて孝吉も亦輕井澤邊の地理等には通曉し居るらしく東京方面に入込みたる形跡あり警視廳に取押へ方を依賴すると共に茨城縣警察部にても徹宵手配中なり(東京)

第二皇子
明春幼年學校へ

目下東北御見學の途にあらせらるゝ第二皇子淳宮雍仁親王殿下には勅令に依り陸軍々人とならせ給ふことに御決定あらせられ昨年以來厚東、一戸兩御附武官は專ら御訓育に任じつゝあるが愈よ今回陸軍中央幼年學校に御入學の御事に御決定最初學習院中學科第四學年より豫科を經ずして直に中央幼年學校に御入學の筈なりしも陸軍側の意嚮もありて豫科より御入學遊ばさるべき旨御治定相成りたる由にて來る九月一日より同校に御入學の御豫定なるも種々の御都合にて來る大正六年三月學習院中學科第二學年全部御終了の上直に同校佛語科に御入學遊ばさるべしと承はる右に付き御學友として目下學習院に殿下の特別學級にある十名のうち近衛公令弟、奥田市長令息を除き其他は全部幼年學校に入學し幼年學校にても同校生徒中操行學術優秀なる者を選び御學友に合して殿下の特別學友を編成するに至るべしと(東京)

課税に異議を申立つ

スタンダード石油會社釜山代理店は過般松印一萬五千函勝利三萬函計四萬五千函の石油を輸入し松印は一函二圓二十錢勝利一函二圓の申告を爲したるに釜山税關にては不當と認め松印一函四圓二十錢勝利印三圓九十錢の標準にて課税せしにスタンダード會社にては之を不服とし異議の申立を爲したる爲め税關にては去る二十五日評價人として税關側より小川、水野、會社側より山野、米人ダビトソンの四名を指名し各秘密に評價せしに其の結果税關にては二十六日評價人評價を折衷し松印三圓二十錢勝利三圓十錢とする事に決定し終にスタンダード會社の敗訴に歸したり斯かる問題は釜山税關開始以來始めてなりと(釜山特電)

救療所の新設
▽中毒者約八十名收容

京城府內に於ける阿片、モルヒネ中毒者治療の爲め京畿道警務部にては過般來京城府と協議の結果救療所を新設する計畫なるが差し當り順化病院の一部を借り受けて救療に充てる事となり廿七日早朝より市內の中毒者約八十名を收容する事となりたり該救療所に對し某篤志朝鮮人は一千圓の基本金を寄附したりと猶相當資財を有する中毒者には其れ〲自費を以て入院治療せしむる樣に諭達する筈なりと

伯爵を辭せる
▽英國の外相グレー氏

襲に伯爵を授けられし英國外相グレー氏は自ら伯爵を辭して子爵たらん事を希望し皇帝陛下の御聽許を得たり其の一面の理由は前加奈陀總督に同名のグレー伯あり自然混淆の憂あるに依れるにて爾後はファロドンリ子爵と呼ばるべし(紐育特電)

暑い職業
▼油煙取り

何にが熱いと云つても雨上りの昨日今日、製墨用の油煙取り位熱い仕事は恐らく有るまい、李王職美術製作所の製墨油煙採取所の中に這入ると間口一間に奥行二間ばかりの部室の周圍には

=百數十の胡麻油=

の燈火が點され燈火の上には素燒の蓋が覆はれて居る部室の中は二百度に近く熱湯へでも飛込んだ如うな感じがする、土器の蓋から溢れた油煙が濛々と立昇る室內は眞暗になつて居る、上等の油煙を取るには一升の油から七十匁の油煙が取れるだけに燈蕊を細くしそれより下等の油煙になるに從つて灯を太く炷いて

=百六十匁位迄は=

取れるしかし風が室內に吹込むと灯が太くなつたり細くなつたりする爲めに油煙に斑が出るから此の室には風は絶對に禁物である、室には僅かばかり明取りの障子が有るばかり其他は貼り包んで針で突いたほどの穴もないこれが此部室を一層蒸し暑くする、それればかりではない、職人は間斷なく

=灼熱した土器の=

蓋を廻して歩かなければならぬ、さうしないと少しでも同じ處に油煙が溜まるとそれに火が付いて燒けて終うから熱いからといつて外へ飛び出して休むなど云ふ譯には行かぬ熱湯の如うな汗を浴びながら少しも空氣の通はぬ狹い部室で朝から晩まで體の四周で百數十の火を焚きながら絶えず灼熱した器物に手を觸れて居らなければならぬから其の苦熱は大低想像するに餘りある

小學生の溺死
子供の川遊びは危險

龍山三阪通一二八官吏正藤敬夫氏の三男文次郎(一二)は西大門小學校の五年生なるが廿四日の午後三時頃學校友達二人と共に龍山二村洞の漢江の一部水溜に魚釣に出掛けた所途に川床の砂利を除却した深所に辷込み溺死したり右に就き

▲某教育家の談を聞くに毎年の暑中休暇前には學校より嚴重に休暇中の心得に就て注意し就中川遊等に付決して一人にて行かぬ樣相當水泳の心得ある大人か又は一定の監督者の監視を受くべき旨呉れ〲も申渡しあるものなるが尚ほ時々溺死者を出すは遺憾なり是等は學校の注意と相俟つて家庭でも監督を嚴重にし單獨は勿論子供同志の川遊びなど絶對に禁止する樣にしたきものなり

鐵橋上で自殺

原籍慶北醴泉郡矢崎村生れ當時大邱東本町居住の古川英治(三)は二十四日夜十時頃大邱川鐵橋上に縊首し居たるを發見し屍體は檢視の上內縁の妻小林こう子に引渡したり英治は土地調査局測量部に勤務中總督府醫院看護婦取締小林こう子と內縁を結びしが間もなく兩人共職に離れ今春大邱山月に食客となり居る中英治は又々山月の女中なにがし子と關係したるを以てこう子との仲面白からず山月にても嚴しく意見を加へたるが小心の英治は之に心を痛め終に死を決したるものならんと云ふ

夜市滿三箇年內祝

太平通夜市は開設以來本年が滿三箇年に相當せるより何等か內祝の方法を講じたしとの希望有志者間に在りたることは既報の如くなるが町內一般の希望も略ぼ一致し居るより近く協議會を開きて具體的方法を決するに至るべしと

鮮少年の溺死

仁川府內里百八十三番地金成淑二男金俊守(三)は友人なる朱起二といふ少年と共に本月二十五日午後一時半頃仁川花町海岸を距る約十町の沖合萬島の前面に於て游泳中誤つて溺に陷ち込み遂に行衞不明となりたるが程經て死體となりて同海岸に漂着したるを以て仁川署の村田部長醫師と共に檢視を遂げ屍は實父金成淑に引渡されたり(仁川)

平壤二日目取組

平壤に於ける東京大相撲二日目の取組は左の如し(平壤支局電話)

玉柳 男島	駒泉 一港	岩木山 宮城山	九州山 宇都宮
常の花 兒島洋	逆鉾 龍ケ崎	大の川 近江富士	兩國 栃木山
綾鶴 大門岩	四海波 梅川	釋迦嶽 紫雲龍	對馬洋 綾川
朝日山 成瀨山	朝緑 稻葉嶽	小常陸 源氏山	大錦 西の海

浮浪者の拘留

京畿道龍仁郡浦谷面新月里六統四戶鄭萬鎔(三七)は仁川署管內富川郡永宗面前所里を漂浪し居たるを引捕へられ仁川署にて拘留五日の處分を受けたり

妙な爺さん
飄然本社を訪ふ

金剛山中の三十年『何んでも佛の力』『電車と風袋』『何時撮つた〱』『寫眞部の地獄と極樂』

二十五日の午後二時頃、飄然と本社に飛込んで來た五十格好の朝鮮人があつた、身姿は小瀧張りしてゐるが

▼頤髭を長く 延ばしたヂヽむさい爺さん、ニコ〱笑ひながら二階と下を往復する車井戸式の郵便物昇降器に足を突込みながら不思議さうに階上を見上げてゐる、ハテ妙な事をする奴だ、氣違ひではないかと訊してみると二階へ昇るのださうだ、濟ましてゐる、こんな狹い孔から登れるものか、一體お前さんは何をしに來たのだと聞くと、高い家だから急に登つて見たくなつたと答へるで段々聞いてみると金剛山

▼長安寺の僧侶 で金法界といふ者、十七歳の時に僧侶になつて三十年間金剛山中に籠り今度始めて汽車に乘つて京城見物に出て來たのだといふ事が判つた、兎に角珍らしい坊さんだからまあ上がれとキヨト〱してゐる法界坊を二階に引張り上げて先づ整版工場を見せる、工場に入るや否や『怎んな人間は何處から來てゐる』と奇問を發したのを口切りに妻楊子の頭程のルビの活字を見て『こんな字は人間の力で彫れるものではない、これは

▼乾度佛の力で 出來たものだらう』と感心しながらも、それを自分の奉ずる佛の方に引きつけてしまう、寫眞部の三階から市中を見て電車を指しながら『アレは怎うして動くものか知つてゐるか』と言へば稍暫らく考へてゐたが『左樣アレは車の後ろに風袋が附いてゐて、それが風を孕んで押してゆくのだらう、京城に來る時に汽車に乘つて來たが之れも恐らく電車と同じく風袋があるのだらう風の力で無くてはあんなものが動く筈がない』と言ふ

▼こんな事を 話してゐる横から寫眞部員が窺ひ寄つて法界坊をレンズに收め十分ばかりの間に現像して燒いて見せると『ハヽア之れはどうも搆僧によく似てゐる』と勿體らしく老眼鏡を取り出し仔細らしく眺めてゐたが『ホホウ』と首を傾けてゐたが『どうも之れは自分らしい』と眼をパチクチさせてゐる、それはお前だといふと

▼益々驚いて 『何時撮つた〱』と不思議がる、よく說明して聞かせると『アイゴー〱』と驚ろく、そして『寫眞は撮る者も寫すものも佛の樣な心持で撮つたらよく撮れるだらう』と之は又尤もらしい事を言ふ

長安寺の金法界坊

暗室に入れて後ろから戶を閉めてしまう、騷ぐかと思ふと然うでもない一分間程して『どうだ』といふと『成程暗黑地獄だ

▼佛法に歸依 してゐない者がこんな目に會ふと地獄へ突き落されたと思つて驚くだらうが、吾々は些しも驚かぬ』と威張る、水道栓から水が迸り出るのを見ては『ハヽ、家の中に瀧のあるのは不思議だ』と考へ込む、その外種々樣々な奇問を發したが千二百燭のアーク燈を點じて見せるとこれは何んだとばかり手を觸れようとするのを慌てて制めて『それは大陽と同じだ』と言ふと

▼遉の法界坊 反り返らんばかりに仰天した、そうして最後に『吾〱が始めて金剛山の山奥から出て來てこういふ所へ來て見るとまるで天上に登つた樣に珍らしく、見るもの聞くもの皆不思議なものだが、之れでは極樂世界に行つたと同じだ』と合掌しながら喜んで歸つて行つた、隨分不思議な坊さんである、

東京大相撲
讀者優待
割引券
京城日報社
本券御持參の方に對しては一名限三十錢の木戶を二十錢に割引致候
—平壤興行中—

演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
七月二十六日より特別大興行 ○希臘海馬鹿の奈良一實寫 大阪毎日新聞社主催チイルス氏同乘空中大撮影の實況 ○喜劇活動寫眞の仲立 △米國トランスアトランチック會社傑作 ○世界的大冒險大活劇『ハート』の3(最終編)十五篇五十卷の內自第二十一編至第二十五編 全十卷 [illegible]

黄金館 見落し賜ふな 大好評の教育好資料 舊劇 五郎正宗孝子傳 全五卷 今二十六日限り

御成座 電話二一九一 武町 革新派中村榮一行 第八十一回替藝題 一番目 片思ひ 全五場 二番目 喜劇二人宗吉 全五場 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 東京落語三遊亭遊三一行 [illegible]

最後の提供 「ハート」の3 約一ケ月半に亘り連續好評を博したる本寫眞も愈々今回を以て凡ての問題を解決す
新派悲劇 呪はれし女 全四卷 二十六日より上場 大正館

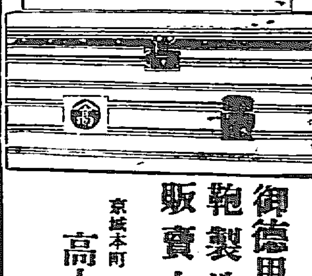
黄金館 電話一八五二(階上) 二六三七(階下) 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 Mカシー商會朝鮮一手代理店
七月二十七日より差替特別大寫眞 ○軍事大活劇愛の傳令 全三卷 ○新派大悲劇『情』 全三卷 [illegible]

新築中と雖も營業はいたします 何卒御ヒーキに願ます 京城新町 汲月庵 おとく敬白

襲名披露
謹啓時下益々御清穆之段奉慶賀候陳者先代吉藏在世中は永年特別の御引立を蒙り [illegible] 何卒御引立の程奉願上候敬白
大正五年七月 仁川本町一丁目 村谷正夫改 二代目 村谷吉藏

藥劑師會員募集 東京藥學講義錄 講師 [illegible] 大特典

內科 小兒科 芙蓉醫院 醫學士 森定吉 京城本町二丁目(瓦斯會社向側) 電話一三六三

東京製鞄 旅行用具一切

御德用の支那鞄製造一手販賣大勉強 京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三一

寒製素麵 印 宸製麵は播州麵を凌駕す 饂飩各種 ◎目方正確なれば釜山製麵より元價安し 朝鮮一手販賣元 鈴木商店釜山出張所 釜山本町(電話七六八番)
特約店 同 近藤商店 本町(電話四一三番) 同 松前商店 同 あづまや商店 辨天町(電話長三五八番) 同 內藤商店 大廳町(電話長六九七番)

醫化學諸器械一式 藥種賣藥卸商 (K) 仁川本町 北島藥館 京城本町永樂町角 北島藥店京城支店

鰻 丼 かばやき 來る二十七日は土用の丑に付例年通り特別大勉強仕候間多少に不拘御用命の程奉願上候追而生鰻は卸小賣共勉強仕候 京城櫻井町一丁目 電話一〇七五番 玉喜

園典侍御暇乞 典侍從三位 [illegible] し各家を訪問暇乞の挨拶を爲し居れ [illegible] より八百餘圓を前借し居れるが近頃 [illegible] を出願したれば彼等を訓戒せしと [illegible]

呆れた庭忽者 木浦竹洞文 [illegible] たるが取調の結果大違ひなりし事分 [illegible] 港商麗丸二等客 [illegible]

天氣 曇少雨晴 七月廿七日 [illegible]

…八月一日より青山南町六丁目の實家に…家臨時賓伯邸内の新邸に入る筈なり昨今谷宮御邸を始め在官中懇意なり

●屑… 郎氏の荒川組に雇はれ目下青島に出稼中の濟州海女は龙十名に達し同組…ウニ等を採つて市中に賣廻はり全く荒川組の節制に服從せざるより同組は軍政署水産課へ之が說諭方…走をも爲し兼ねまじき權幕…荒川組にては今回青島憲兵分隊へ說諭方を願ひ出でたりと(青島)

…とて同人を毆打し著衣を引破るなど暴行を加へたるより警察へ引致せられたり

●連絡船上陸客 廿五日朝入 [illegible]

●内地人の墳墓 永住の基礎

□民籍係の統計□

□京城府廳の民籍係で去る六月中に受付けた居住規則による件數は總數二千五百十六件(尤も鮮人の民籍出によるものは此の以外である)□其の中最も多いのは居住届の一千三十七件でこれを見ても新たに京城に入り込む人の多いとがわかる□次に移轉は五百件、退去が百八十四件あるがこれは何れも届出を怠る人が多いから其實數は約三倍位あり□また出生の數が百三十八件で每年お産の多き三四月の月に較べるとずつと減少してゐる□死亡數は百四十七件、これも一年中最も多き八月九月に較べると非常に尠ない

□次にお芽出度い結婚式の數は唯だ從然訂正の部で調べるの他はないが總數二百七十件の中結婚に非ざる戶籍の變更も含まれて居るから正確の數は判然と分らぬ□それから埋火葬の使用許可が四百六十八件で其の內埋葬は鮮人が多く總數三百三十一件の內で三百廿人までが鮮人である內地人は僅に十一人□また火葬許可はこれと反對に內地人が多くて鮮人が尠なく總數百卅七件の內、內地人が百廿六件、鮮人が十一件である□また近時內地人にして朝鮮に墳墓を設ける人が多くなつたのは一般に永住的の基礎を作つた人が多くなつた所爲であらう

ダリヤ

●脚氣に利く玄米乳

○此の頃街で賣る玄米乳を何か玄米で作つた藥湯のお化け位ゐに思つて輕蔑する人もあるやうだが近來はこれを愛飲する人が非常に多いといふはなしである○殊に京龍營內の經理官練習所では初め貝原經理官が玄米乳の爲めに脚氣が治つたといふので昨今は練習生一同愛飲して居るといふ○其の他病院を始め上流の家庭でも牛乳と共に愛用されてゐるが玄米には鈴木博士發見のオリザニンを含むで居るから脚氣病などには有效であらう

●米婦人旅行團

米國市俄古市よりの婦人旅行團一行…五名加奈陀太平洋鐵道汽船會社の日支巡遊券にて日支旅遊の途二十八日朝釜山上陸…大門へ向ひ二十九、三十の兩日京城滯在の上卅一日午前九時十分發北行奉天へ向ふ由

●婦人界消息

△石塚忍子(曾禰府長官夫人)廿六日朝八時半の列車にて東上、同家族は令孃幸子さん始め照雄さん、武男さん、文子さんも御一緒です尙ほ東京よりは那須若松へも赴かれます

△山口かめ子(山口太兵衛氏夫人)豫て自宅にて御病氣靜養中のところ昨今快方に向はれました

神社こお寺ご教會

○東本願寺(南山)廿七日午後二時より婦人例會あり

—△會いろ〳〵▽—

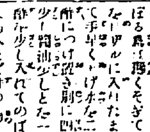
□養成所卒業生講習會 本月廿五日より八月廿三日まで京城中學校にて開催、同校職員養成所第一回卒業生全部出席

□小學校教員講習會 各公立小學校及び普通學校の內地人教員講習會は去る廿日より卅一日まで京城中學校にて開催

□單級教授講習會 去る廿二日より本月三十日まで京城中學校にて開催全鮮各小學校教員の出席あり

□青木氏音樂會 二十六日午後八時より龍山鐵道俱樂部にて開催、氏の音樂に關する一場の講話ありたる後新曲の獨唱を試みらるべし

□調理研究會 仁川調理研究會主催の下に二十六日より五日間竹園館に於て吉川傳光一行の浪花節を開演すべし



回鳥キヤベツからしあへ

赤キヤベツの外葉をはがして細かく切りて煮立ちたる湯に入れて節で過ぎお皿に掬ひ洗して水に取りザツとしぼります、鳥は胸くそぎて醬油を煮立て此中へ胸の鳥肉をつけ置き二三十分してかたくしぼる、鳥を入れたまゝ四五分よりかけて手早く上げ水を三杯よりかけて水をきり所につけ置き別に西洋カラシに酒切り味淋と醬油少しとを一所にしてよくねりまぜ上に鳥肉少し入れてのばし前の鳥とキヤベツを入れあへまぜ前の物となす(岩木はつ子)

番茶のあと

光化門通り遞信局前の大通りを每日正午過ぎになると定つたやうに道長官の自動車が駛る△そこで遞信局のある若い人が道長官は何時もお早いので結構ですと羨しさうに云ふと△否自分も千過ぎまで居つて一同と共に食でもやらうと思つたが△部下の者はそれよりも早く歸つて呉れた方が難有い幸せといふから早く歸る△その代りに朝は八時に一分も缺がさず出勤するからどつちにしたつて窮屈さ加減は同じ事だと大笑ひ。

◇◇◇◇◇◇

□土用の丑の日 廿七日は土用の丑の日に當ります、例に依り人の智から立派な迷信的の習慣になつて鰻の蒲燒を食べる日であります

●調理研究會例會 仁川調理研究會例會は二十五日午後四時より仁川湊町新町亭支店內に開催し會員全部出席し各自持寄りの料理を試食したる料理に付き研究する處あり閉會散會せり

●保護者會役員會 仁川保護者會は去る二十四日午後八時より仁川俱樂部に役員會を開催し山田、河野、大石、森、守川、清水、山中、島の諸氏出席し大正四年度收支決算報告及び仁川小學校に於ける大和記念文庫に對し其經費として年額金六十圓補助の件並に先頃卒去せられた井上理事に弔慰の意を表する爲め同氏の遺族に弔辭を贈呈し記念品を贈呈する事を決議し解散せり

●中學の土用稽古 京城中學校にては昨今午後一時より同二時まで毎日一時間劍道及び柔道の土用稽古あり盛會なり

◯釜山の鰻が奉天まで行く

□二十七日は土用の丑の日、相場は貫三圓□

◇京龍間で一日に需要される鰻は此の頃ざつと五十貫京城では江戶川、松金、天金などが最も多く殊に江戶川は一日平均六貫匁以上を買ひ入れる◇龍山の渡場附近字田といふ鰻問屋では此の頃百貫匁に餘る鰻を水槽中に活して居るが水槽中の水は絕へず冷たい井戶の水を注ぐ◇京城龍山で消費される鰻は其の大部分全羅南道で獲れる、殊に木浦から東二十里程の康津郡、順天、河東邊が名產地である◇これ等の鰻は一度釜山に廻送され其處から更に龍の氷詰として京城に輸送されるが仕向地は獨り京城のみならず更に鴨綠江を越ゑて遠く奉天に迄も及んで居る◇鰻は穴の中にもぐつて居るものと思ひの外、南鮮の海では五尋位ゐの深さに泳いで居る其處では八十尋の延繩に一度で三十本も釣りあげるといふ◇また手操網でも引揚げて獲るが釣の餌には多くしやこを用ゐる◇鮮人は初め鰻を厭つて決してこれを食はなかつた、南鮮で初て鰻漁を試みたのは肥後八代の漁師であつた然も今から二十一年以前のこと◇鰻は手疵を負うても潮と異水の境界に居れば自然に治る、從つて多く河口の海に注ぐ所に多い◇此の二十七日は土用の丑の日に當るから鰻の御用は激增します、昨今の相場は一貫匁三圓

宮本武藏

第百十一回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

侍『コレ〳〵三太郎、此の夜具は其方に下さるから持參をいたしたが宜い、又來年も松を納めるやう』三『へい、有難う存じます、其では是を頂いて參りますから宜しく何うか殿樣へ申上げて呉れさつせエ』と掛けて頂いた夜具をソツクリ馬の背へ附けて翌日立歸る、其から又翌年も松を納めましたが、翌年からは夜具の代りにといつて御目錄を下されました、ソコで每年々々細川家へ松を納めましたといふ、是が細川家第一のお出入り、八王子の三太郎といふ者でございます、扨て加藤家が御取潰しになつて肥後の熊本といふ所は九州名代の要害の地でありますから容易な者を遣る譯にはならない、關東の會津と同じやうなもので誰が宜しからうと將軍御前に於て屢々會議がございました所、先づ細川越中守忠利といふ人なればといふのは御領分の百姓を悉く御致ひになつた、是等の事は上御役人に疾に知れて居りますから、ソコで細川といふ事になりました、尤とも豫じめ極つたのは十月でございます、加藤の家が取潰しになつたのは六月、細川を熊本へ國替といふ事に極つたのが十月、然れども此事は極く秘密にして世間へは更に發表しないでであつた、スルと其年の暮に至つて肥後の熊本は細川越中守へ御國替の由、世間で專らの評判、其が將軍家光公の御耳に入つたから家光公早速土井大炊頭を召され『家にて秘密に致し置きたるに何者が世間へ吹聽いたしたか、役人共の中に秘密を洩らした者があるに相違ない、早々取糺せ』といふ御達、此時土井大炊頭が『大』恐れながら決して左樣でございません、上御一人の思召しこそ下萬民の思ふ所と存合いたす、之れ天下太平の基ゐ、私し儀家來共を用ゐ御府內諸所へ遣はし世間の風說を探らせます所、昨日兩人の家來共立歸りまして差出しましたる書面之れにございます、一人は品川邊へまゐり、一人は箱根邊へまゐり、世間の風聞を承はりし所、近きに細川が熊本へ國替になるといふ專らの評判、之自から人氣の寄る所世間の取沙汰と相成り、決して役人共が口より漏れましたる次第ではございません、上の思召も下萬民の思ふ所も違はざるは上下一致の證據にして誠に恐悅に存じまする』と言上いたしましたから家光公殊の外御滿足ソコで越中守忠利豐前小倉より肥後の熊本へ移り、肥後一國へ豐後の鶴崎を添へて五十四萬石を賜はりました、誠に目出度き家柄でございます、さて越中守忠利侯宮本を强ての御所望、長岡監物手前が取計らつて御當家の家臣に相成るやうに致しませう」忠利侯「左までの御執心、宮本武藏は至極旨きやうに致し呉れ」監『心得ました』直に家へ歸り宮本に知らせずして其儀小倉へ向つて出立いたしました、之れは宮本を逃さぬ所で承知をしまいから小笠原家の方へ往つて旨く計略を用ひ、武藏を捲上げて了はうといふ心底、醜いお爺さんもあつたもので大勢の供を連れると目立つて不可んといふ所から、若黨一人、仲間一人を從へまして熊本を發足いたし、御番船に乗つて豐前小倉へ著し、直ぐに城內雨森縫殿之助屋敷へ參り『細川家家老長岡監物、元御藩士宮本武藏儀に付き君侯へ言上いたしたき仔細有之、御目通りを願ふ』と申入れました、雨森は長岡監物が參つたといふ事を聞いて取敢ず玄關にまで出迎へ　雨『これは〳〵長岡殿で在らせられますか、御口上は早速上へ申達しますでござらう、兎もあれ此方へお通りを』といつて監物を奧へ案內いたし、縫殿之助町重に扱かひます、之れは陪臣とはいへ長岡監物は細川の家老、殊に一族であるから大した格式、越前の本多、前田の横山、毛利の吉川など、同樣、公儀に於ても大名の取扱かひであります、雨森縫殿之助より君侯へ申上げる、右近將監忠眞侯直ぐに之れへといふ、長岡監物案內に隨つて御前へ出でましたが茲に監物奇才を以つて宮本武藏を捲上げるといふ一席。

陸長病氣全快從來通・診療仕候
京城本町一丁目
耳鼻咽喉科 杉本醫院 電話一二三〇番

皮膚生殖器科 岡病院
平壤黃金町大同館通 醫學士 岡政二 電話一六九番

皮徽科 入院隨意(診察夜九時迄)
皮膚 徽毒 淋病 膀胱 生殖器 機能障礙
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(三元町) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

七月二十八日九星
曜六月廿九日 丙寅
本命 一白 北 危 佛滅

▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible]

商況

東京株式特電

[illegible]

債券現物特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

●內地製粉界一轉
[illegible]

●毛斯綸は堅調
[illegible]

●平板更に强硬
[illegible]

●粗布値上げ
[illegible]

●製綿値上げ 一圓方引上 挖き眼先需要季
[illegible]
五十錢方の値上 十五圓七十五錢

●綿糸は漸騰
[illegible]

●更に新値を逐ふ 一圓方を引上げ
[illegible]

●新小麥氣直る 幾分引戾氣味
[illegible]

●正米の眼先 段の高値 前途は更に一段
[illegible]

下關相場

相場の低落を望む難
[illegible]

各地商況

○大邱(二十五日の穀物)
[illegible]

生魚市場

[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の運穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

釜山市場

[illegible]

仁川期米

二十六日前場 一昨日止
同事の入電二節三十五錢の移
大阪四十一錢高移
大阪十一錢安移
[illegible]

市場零聞

依然保合ひ
保合の儘
市場は稍盛況
[illegible]

仁川米豆取引所

二十六日の九月限
[illegible]

▲前場の手振
[illegible]

▲更に動かず
[illegible]

▲當限肩替り
[illegible]

▲解合說
[illegible]

▲一千石の肩替り成立 圓五十錢
[illegible]

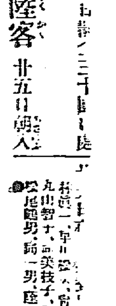
▲釜山米信
[illegible]

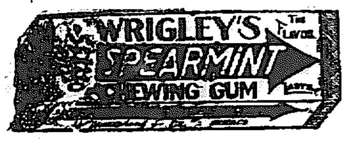
▲籾數量實に二百八十萬斤
[illegible]

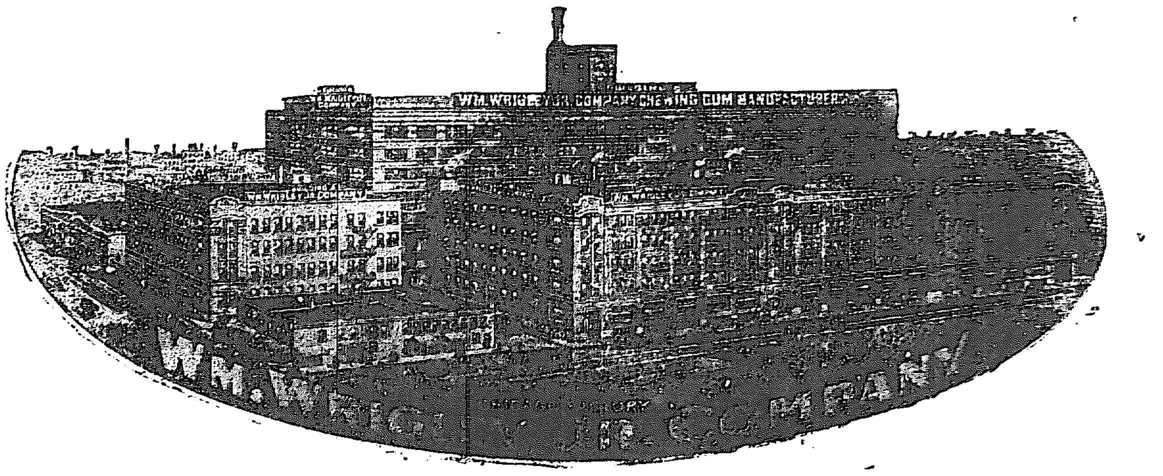
▲受渡豫想
[illegible]

不二興業株式會社 約二萬石の地場
賣方にて約二萬石計
五萬石內外
一萬石乃至二萬石の解合は事實免れざる
正米の手當
既に準備し居るに關せず解合を希望
[illegible]

▲正米高原因
正米界の强材料
豐富
[illegible]







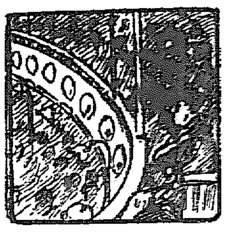
本社は米國シカゴ市、同紐育市、加奈太トロント市、豪洲メルボーン市、英國倫敦市の五ケ處に此の如き大工場を有す

リグレー會社製チウインガムは如何なる場合にも御用に立ちます

リグレー式チウインガムは菓子と香錠と兩方の特長を具へ其の一番通な召上り方は一枚を一時間も二時間も噛むのであります。甘味が薄れると、薄荷と香料とのこつたゴムが殘り、薄荷の防腐力は齒に溜つた汚物の醱酵を絶對に防ぎます、從つて口中のクサミに惱む事無く、且つ香料の力で何時もいゝ香りがして居ります、此のゴムをホヽヅキでも噛むやうに、口の中で氣永にアシラつて居ると無限のお樂しみとなり、またゴムに含まれて居るペプシネが消化力を活潑にいたします、此のペプシネの香は初めはチヨツと舌馴れませんでも、噛むに連れて忘れ難くなつて參ります、ゴムは終ひにお捨てになるのが普通ですが、お呑み込みになつた處で決して御心配はありません

執務

執務中のタバコは、時間の損でもあり、且つ仕事がおくれます、米國政府の官吏は、執務中タバコを廢して、リグレー式のチウインガムを用ひて居ます、そこで仕事の捗も行き、身體の爲にもなるといふ、一擧兩得の方法が行はれて居ります。

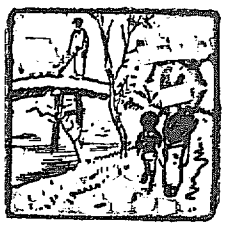


觀劇

お芝居にチウインガムは附き物で、近頃では役者衆がしきりに之を用ひて居ります。御見物中には、煙草も飲食物も成るべく遠慮して、出演中の役者に充分腕を振はせる事が當を得たもののやうに思はれますが、其處へ參ると、チウインガムは誠に打つて附けでございます

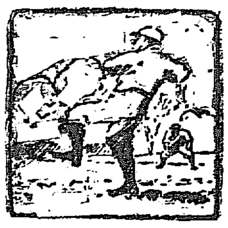
電車

「たばこのむ事」は電車禁則の一つでありますが、今度は物を飲べる事も禁ぜられたさうです。然しチウインガムのみは、電車の中でも自由に召上つて構はない上、是を噛んで居れば長い途にも退屈する事はありません



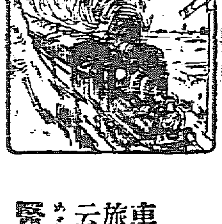
散歩

沐浴して終日の汗を流した後、家族うち揃ふて夕食をすませ、涼みがてら散歩するに好い季節となりました、此時、皆様がチウインガムを一枚づゝお噛みなされば、咽喉の渇く事なく、口中がサツパリと致します



運動

千言萬語も一の事實には及びませぬ、歐米著名の運動家は皆チウインガムの愛用家だと云つたゞけで、渇を醫し、疲れを休める効果が知れませう。庭球、野球、端艇競漕、水泳等には、必ずチウインガムを忘れ給ふな。



旅行

車窓の外に移つては變る風物光景も、長途の旅行には流石に倦き、新聞雜誌も讀み盡したと云ふ時、チウインガムは如何に皆様の慰さめとなるでせう、殊に汽車旅行に起り勝な胃弱を醫し、消化を增す上に卓効があります。

勞働

勞働中のタバコは勿論嚴禁されて居りますが、諸きた是が喫みたいものです、そこでチウインガム一枚を一二時間も噛んで居れば、タバコに優るお樂しみとなり、且つドンナ職業に在つても、危險の恐れ更にありません

食後

三度三度の御飯後に、チウインガムの一枚を必ず召上れば、齒の惡くなる憂ひがございません、毎朝齒をお磨きになることが衛生上必要であるやうに、食後チウインガムを召上る事も、家庭には欠くべからざる事です。

裁縫

家庭に在つて終日裁縫其他のお仕事に從はるゝ御婦人は何かなうさ晴す物が無くてはなりませんがそれにはリグレーのチウインガムが一番です殊に婦人の特質たる齒の惡いのを、强健にする事驚くべきものがあります

演説

チウインガムが渇を醫し、聲を潤させるお爲めに、歐米著名の演説家は常に之を用ひて、その偉功を賞讃して居ます。チウインガム一度出でて、昔に聞くデモスセニースが雄辯も、今は必ずしも及び難からざるに至りました。

□甘味好みの スピヤミント □一包……(短册形五枚入)……金十錢
□薄荷好みの ダブルミント □煙草、菓子、賣藥、洋酒食料品店等にあり

發賣元 東京市銀座通新橋際(電話新橋三二六七) 振替東京二三三〇〇番 リグレー會社

代理店 京城本町一丁目 電話一三六番 東京 塚谷出張店

京城日報
第三版
廿七日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行所 合資會社 京城日報社

銷夏の秘訣

京城日報

霖雨去て是より炎暑に入る、巷間復た苦熱を喋訴するの聲を聞くべし。吾人は如何にして苦熱に對せんとするか。吾人は毎夏諸名士等の銷夏方法を見聞す、各人各樣にして、而も概して平々凡々、吾人は竊に物足らぬ感を禁せざる也。

思ふに暑しと云ひ、寒しと云ふも、畢竟するに、各人心の持ち方に因りて異なる也。人或は夏日を以て、勤勞にも、健康にも適せざる、厭ふべき季節なりとなし、避暑と稱して、山に海に涼を追ふて趨り、以て得意然たるあり、甚しきは一種のブライトとなすものあり、其の愚や寧ろ笑ふべく憐むべきものたらずんば非ず。見よ、禾穀の實るも夏日に非ずや、日中の長くして服裝も輕快に、勤勞に便なるも夏日に非ずや、植物は繁茂し、諸動物は活動す、斯く人間生活に對する、尤も天惠多き季節に背き、自然界の理法を無視し、家を棄て業を休んで山村水閣に出遊するは、矛盾も亦甚しからずや、況や炎帝は至公至平なり、夏日の暑きは萬人一樣の事にして、之を避けんとするも到底逃避し得べからざる也。又た見ずや避暑の人に苦熱呻吟の聲ありて、炎天の下に勤勞する者却て謳歌の喜色あるを。吾人は彼の徒に暑を逃避して、尚ほ且つ炎熱に苦む者の愚を笑ひ、暑と鬪ひ、之を征服するの痛快にして、亦た男子的なるに贊す。

「暑しともいはれざりけり沸きかへる水田に立てる賤を思へば」とは畏くも明治天皇の御製にして、萬乘の尊貴におわして、尚ほ民草の身の上を思はせ給ふ御仁徳に出るとは申せ、我が大和民族を代表させ給ふ、剛健勇武の御氣象を詠じ給へる大御言に外ならず。此の御製を拜誦しても、吾人が暑熱を呻吟するの惰心は立どころに排拭さるべき筈なり。避暑等の贅は實に以ての外ならずや。業を勵み身を練るこそ、人生々活の眞意義に合するに非ずや。

要するに暑は避けて遁るべきに非ず、鬪うて征服すべきもの、厭うて銷夏すべきに非ず、進んで利用し鬪ふべきものなり。其暑しと云ふが如きは、各人の心持によりて、其感じに強弱を生ずるものなり。心頭を滅却すれば火も亦涼しと、借問す世人は此夏期に如何に處せんとするか。

歐洲戰と北米合衆國（五）

日米將來の經濟的關係

經濟研究會に於ける　勝田鮮銀總裁講演

四、積極的政策

▽貿易と金融機關　次に貿易のファイナンスを行ることに就て亞米利加に於て考へて居ること、又は實行しつゝあることは如何なる事であるかと云へば、第一貿易のファイナンスが何故出來ないかと云ふに金融機關は其れ々々有るが、其の働き、例へば倫敦で申せばアクセプチング、ハウス即ち手形引受をする程の働きのものではないから、其の働きをつけやうと云ふのである。夫れから合衆國の銀行には手足が多くない。英吉利の銀行には手足が充分にある。亞米利加には其れが多く無いから、手足を多く造らねばならぬと云ふので、之も著々其歩を進め、現に南米の貿易に對しては數多の支店を設置して活動して居る樣であるから、これもさう遠からず其の目的を達することになりはしないかと思はれる。

▽獨逸式銀行經營　もう一つは獨逸の遣り方を眞似て銀行の銀行を造らうと云ふことである。御承知の如く彼の獨逸銀行の如きは個人の株主に依りて組織されて居るのではなく、獨逸バンク、デスコントゲゼルシャフト其他各種の大銀行が株を持つて獨亞銀行なるものを造り、之を海外銀行として國力の發展を圖つて居るのであるが、合衆國に於ても此の方法を執つたらどうだと云ふ案も出て居る。併し之はナショナルバンクの法令上に於て多少差障りがあるといふので、未だ實行はして居らぬけれども、これも遣り出せば必ず遣からざるうちに獨亞銀行の如きものが南米や中央亞米利加や或は支那に出來はせぬかと私は考へて居る。

▽獨逸主義と米國　爰でお話しして置きたいのは獨逸の銀行の遣口である。そして之は日本の狀況に於ては餘程考へねばならぬ問題であると思ふのであるが、同時に之は日本の銀行制度上の大問題である。日本の銀行制度は英吉利の銀行制度を採つたもので、預金をとつて有利に廻すと云ふ制度であるが、獨逸の銀行はさう云ふ事に拘泥はして居らない。元來先進國に伍して先進國の遣り方を眞似て居るのでは駄目である。先に進まうとするならばやらねばならぬ。先進國の遣口を眞似て居るのでは始終其の後に尾いて行くのならば、三歩後になつて居なければならない。そこへ行くと獨逸は種々な事を行つて居る。即ち銀行が或る事業が適當なりと認めれば銀行自ら之れを經營するのである。獨逸の銀行の遣り方を南米や中央亞米利加や支那に於てやらうと云ふのが合衆國に現在起つて居る主張であるが、斯くしなければ國力の發展は充分に出來ないと云ふて居る。獨逸の如きはずつと先きに行つて居る獨逸人の銀行の取扱までやつて居る。自國民を保護し、國力の發展を圖る點に於ては何處までもやると云ふのが獨逸の精神である。合衆國に於ては獨逸の遣口に眼をつけたものを南米や中米に於て實行せむとするのであるが、斯樣なことが出來れば將來[illegible]を見るべきものになるだらうと思ふ。日本では英吉利流の銀行制度許りを執つて居るが、海外發展のため大陸主義だのと、やかましく言ふて居る日本の現狀から云へても、人の金を預かつて何分何厘に廻して其利子の鞘で飯を食つて、腕を組んでばかり居る場合ではなからう。而して此事は日本に於ける銀行制度上の重大問題として將來起るべきものではないかと私は考へるのである。

□樹陰　石田富造筆

城壁文學

小田省吾

（第八）都城築造餘話

京城都城の築造並に修築に關し、城壁に存刻されたる文字を根據とし、之を諸書に徴して一通の事を前諸項に於て縷述した。然るに諸書就中實錄を閲讀する内に、該都城築造中に起りたる種々の出來事が巨細となく載せてあつて大に當時の裏面觀察をなすに足るものがある。由て最後に此の一項を設けて結末を附けようと思ふ。

一、僧徒工役を助け且つ救護に力む。

併合以前に於て朝鮮の僧侶は社會の水準以下に在つたが、李朝の初には僧敎も尚盛んであつて僧徒も相當の地位を持つて居つた。そこで彼等は固より方外の民ではあるが、國都經營てふ大事業の興るに及び、默視するに忍びず振つて大に力を盡した譯である。其の中最も有名なるは祖生、宗林、明宣の三人である。祖生は太祖の時内願堂（……）の住持であつたが、太祖が最初鷄龍山に新都を經營せんとするに方り、國家創業の時であるため民力を用ふるを慮り、僧徒の盡力者多きを以て之を役に使役せんと欲した。各宗の僧徒此の事を聞くと自ら奮つて僧徒を率ゐて役に赴かんことを請願する者數十人の多きに上つた。そこで祖生は是等の志願僧を引率して太祖に謁し其の忠實を表つたことが記されてある。其の後彼等僧徒が漢陽の經營に於ても出て働いたことは、四年九月大廟宮闕新たに成つて之に使役した丁夫を放還したが、是れは秋季の收穫を顧慮した爲めであつて民事に關係なき僧徒は尚之を留め置いたといふ記事のあるによつて解かる。宗林は太祖の時の都僧統で當時僧侶の最上位に在つた人であるが、前判事尹安鼎と謀て板橋院なる救療所を作つた。板橋院は今の廣州郡板橋里即ち京城から漢江を渡つて水原に達する大路に當り水原の北方約五里の地點に在つたので、南方諸郡から京城に徵發されて往來する者多數なるに及び、途中疾病に罹る者あれば、該院に於て之に醫藥飲食を與へ留つて治療せしめ、疾癒ゆる者には糧米を給與して發向せしめたのは眞に篤志の事である。是れは全く私設の事業であつたが、間接に工役を助けた事は實に少くなかつた。時の右政丞金士衡之を聞いて上聞に及び、米豆等を賜うて該院を賞したとの事である。右の外十餘萬の人夫一時に漢陽に群集せし事ゆゑ、春寒猶料峭の候であつたけれども疫癘大に流行した。時に華嚴宗の僧坦宜なるもの寒も之れを畏れず、心を盡して救恤に從事した。後坦宜は落ぶれて慶尙道新寧驛に流浪したが世宗朝に再び工役の起るに及び、官之を採用して救護の事業に從事せしめた。猶詳しくは下に述べる。（未完）

晝寢

（五の日十の日會吟）

昌徳の園玉兎子講習會に、歸したりとて同柿子誘ひ來り俳運爲めに擾へり（此項完）

○長講座の晝寢眼をノートに落しけり　傀王　鬼

○蝙蝠に窓ふ踏み晝寢起哉　田　柿

○瓜ごろ〳〵の宿に晝寢る　句　平

○晝寢覺めし臺豆垣を押ふる　坡　柳

○晝寢伸び〳〵と足の裏干す　鳥　堂

○晝寢財魚を機より釣りし　目　池

書畫研究（男女）會員募集
（書法）明、清、（畫法）花卉、翎毛、山水
教授日時　毎週水曜、土曜　上午九時ヨリ十二時女子　下午二時ヨリ六時男子
京城長谷川町（日本人會舊館内）　書畫研究會

警官看護養成
本校は內地朝鮮臺灣支那外國に就職採用試驗大…各方面共募集…左記…東京…公團…成功…

京日案内
普通（一回前金三十錢五日間…）
番外（一回前金…）
▼申込擧用中也は前金…

外交員募集　行給にして歩合多大希望者は履歴書携帶本人來談あれ　櫻井町一丁目七三　日新圖書普及會
▲松汀里光州間自働車は光州木浦間の列車に聯絡す　▲光州自働車會社
▲見習看護婦至急募集　櫻井町一丁目五九　筑紫醫院 529
▲開店　古本買受　京城本町三丁目　▲東京堂書店 681
▲古本高價買入　御報參上　本町四　▲書肆群書堂 637
▲是非御試食を乞ふ　電話二七八一番　燒物 煎餅 職人入用 希望者は一報あれ　平壤南門町　芦田商店 527

京城春川間自働車　賃金片道四圓　毎日午前八時出發　京城南大門通一丁目　電話二一九番　主務 金正潤　廣橋自働車組 648

皮より強い値の安い　專賣柳製德用鞄　京城本町一丁目　高木旅行用具店 513

恩給　年金　短期立替利子壹歩式厘五毛　無保險迅速融通　京城武橋町二三番地　電話二三八三番　國江商會 619

ゴム風船　ゴムホーツキ　諸サック其他各種ゴム製品製造卸　北方京城日報社前　電話二六〇　振替二九三三　太陽ゴム商會 674

恩給　年金　證書　五年半迄立替月利壹步五厘五毛　三年迄無保險　公債特別高價に買入す　京城南大門外（蓬萊町）　山口屋 694

鮮語講習會　自八月一日至九月十日　午後三時…四時半　初等科高等科の二科を設く　南大門通一丁目　京城青年會 535

◎鮮語科　◎英語科　新學期三ケ月修業　甲乙內共募集補缺　南大門通一　漢城銀行向　京城青年會 536

女集金事務員　急募採用　左記へ至急　中込南大門通二の一三六　電話三九七　大阪朝日新聞販賣所 532

生徒募集　京城明治町一丁目五四　短期銀行會社商業者へ就職照介　京城簿記專修館 534

改名御披露　今般都合により左の通改名仕候　龍山彌生町　元於多福　角海老 533

日韓書房　新版報告
西田一著　誰にも出來る電氣工學　定價二圓五十錢 送料十四錢
長田幹彥著　情炎　定價六十錢 送料六錢
朝鮮總督府纂　朝鮮林野分布圖　定價三圓 送料十二錢
池邊鎌田共著　校定源氏物語詳解　定價三圓五十錢 送料廿四錢
碧梧桐著　日本之山水　定價一圓二十錢 送料八錢
京城本町二丁目　電話一四五・二二七番　朝鮮振替口座二一五番

女學世界　八月號
砂の塔（其折々の感想）……與謝野晶子
離婚と男子の道德心……吉岡彌生
△妻を迎ふる迄……
△心と心の不思議な邂逅……村上浪六
偉人の母……佐々木信綱
△女學生を下婢に使ふた結果……
△大連の新開地……西條田鶴子
雲雀の高歌……與謝野鐵幹
長篇小說　女優（……）……田村俊子
家庭小說　奧樣の天下……小山内薰
△高野發山の思ひ出……
△諷刺雨婦人の對話……
長篇連載小說　蛇……內藤千代子
△太陽の光と瓦斯の光（趣味科學）……
△私の生花の流儀……尾崎…子
家庭小說　此の子の親……トム老人
傳說綺もの語　瀧の白糸……橋朗夢
定價二十三錢（郵稅二錢）
東京本町　博文館　振替二〇四番

朝鮮警官巡査受驗提要
永野清著　定價八十錢 送料八錢　大阪屋號書店
本書は朝鮮總督府巡査採用試驗に必須なる各科目に簡明なる說明を付し且最近の採用試驗問題を蒐めたる受驗者必讀の良參考書なり

大阪期米特電（廿六日）
寄付 廿三圓三十九錢　△中限寄付十三圓…　△先限寄付十四圓三十八錢

仁川米豆取引所
[illegible]

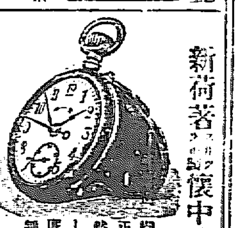
▲遂に騰發す
[illegible]

▲當限問題
當限問題は本日入保…有力者某々三氏を介し…

▲現物界
…十圓九十五錢…

二十六日の九月限
寄付 廿二圓三十九錢
止 廿二圓三十九錢

七月限　五萬百五十石
八月限　二萬二千六百五十石
九月限　四萬石



新荷著　懷中時計
[illegible]
右は今回當商會に於て新荷着の商品にて…御注文に對して…
時計蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國雜貨直輸入商
イングレッシー商會
本店　京城本町二丁目　電話九七二番

商業登記公告

日鮮殖林株式會社監査役大宮鑑衛及矢島倉之助ハ任期滿了ノ處矢島倉之助ハ大正五年七月拾日重任シ且左記ノ者ハ監査役ニ當選同日就任シタリ
長野縣諏訪郡永明村百七拾七番地　五味長四郎
同社ハ大正五年七月拾日各株ニ付金六圓宛拂込ヲ結了シ各株ノ拂込金額ヲ金拾八圓五拾錢ト變更シタリ
右大正五年七月貳拾日登記

土佐紙株式會社ハ大正五年七月拾八日各新株ニ付金拾貳圓五拾錢宛拂込ヲ結了シ各新株ノ拂込金額ヲ金貳拾五圓ト變更シタリ

商號新設
商號　大元商店、營業ノ種類　歐米雜貨販賣、營業所　京城府西大門町壹丁目五番地、商號使用者ノ氏名住所　京城府黃金町參丁目百六拾番地　李相所

株式會社韓一銀行取締役ハ大正五年七月拾貳日辭任シ同日京城府平洞拾參番地李容稙取締役ニ當選就任シタリ
同會社監査役崔鎭及沈相翊ハ各任期滿了ノ處大正五年七月貳拾貳日重任シタリ
朝鮮貿易株式會社ノ取締役トシテ京城府黃金町壹丁目拾番地李敬翰當選大正五年七月貳拾日就任シタリ
右大正五年七月貳拾五日登記

支配人解任
支配人　株式會社韓一銀行ハ大正五年七月貳拾四日支配人李應秀ヲ解任シタリ

支配人選任
支配人ノ氏名住所　京城府唐珠洞拾參番地　邢熙澤、主人ノ氏名住所　京城府南大門通壹丁目四番地　株式會社韓一銀行、支配人ヲ置キタル場所　高陽郡龍江面東幕六統參戸
右大正五年七月貳拾六日登記

京城地方法院

秋蒔種子新荷著
美濃早生大根　一升に付　九十錢
練馬大根　同　八十錢
宮重大根　同　八十錢
聖護院大根　同　九十錢
方領大根　同　八十錢
近江蕪　同　八十錢
天王寺蕪　同　八十五錢
千筋京菜　同　八十錢
壬生菜　同　八十錢
朝鮮白菜　同　八十錢
開城白菜　同　一圓
芝罘白菜　同　二圓廿錢
其他いろ〳〵　一合に付　五十五錢
營業案内　御申越次第呈進
京城旭町二丁目　三輪種苗店

◎開院式は八月一日

國會は豫定の如く八月一日先づ開院式を擧げ正式の會議は其れより一二週間の後なるべし又開會後第一に副總統選擧第二に國務院議員の選擧を行ふべしと(北京特電)

◎南方議員と副總統

南方の議員は本來岑春煊を副總統に選擧せんとの希望なれど行懸り上段祺瑞を選擧せざるべからざるの已むなきに決したるが一方段祺瑞自身は副總統たると同時に陸軍總長をも兼任せんと欲しつゝあり(北京特電)

◎帝政派議員と辭職

北京政府は帝政派の主要人物たりし二百餘名の議員に對し自ら辭職せしめ候補議員を以て之に當つべしと(北京特電)

◎南方四省聯合固し

廣東廣西雲南貴州四省の聯合極めて鞏固にして北京政府と對峙し隱然一敵國の觀を成しつゝあり(東京電報)

◎獨逸の地位極て危險

獨逸宰相の聲明か

露都に於て堅く信ぜらるゝ所に據れば獨逸宰相は最近開かれし軍事會議に於て下の如く聲明したりと云ふ曰く獨逸の地位は目下危險至極となれり國內の擾亂にして此の上繼續せば來るべき戰爭に堪ふる能はず又戰場に於ける獨軍の危機も案外早く來るべしと(露都電報)

◎獨逸今後の對露戰略

獨軍の今後執るべき戰略はリガ、ドヴィンスク戰線に對し頑強なる守勢を取りルック、ブコヴィナ戰線に於て逆襲的攻勢を取るに盡力すべき見込なり(露都電報)

◎西印度諸島買收成る

華盛頓來電に曰く米國が丁抹領西印度諸島を二千五百萬弗にて買收せんとする交涉は殆ど成立したる旨公表されたり(紐育電報)

◎英軍依然優勢

英軍は依然として優勢を保ちつゝあり(香港電報)

◎工場法施行令樞府通過

樞密院にては二十六日午前十時より宮中東溜ノ間に於て臨時會議を開き聖上陛下の臨御を奏請の上豫て御諮詢中の工場法施行令に就き凝議したるが內閣よりは河野農相、一木內相尾崎法相、高橋法制局長官等出席特別委員長伊東己代治子より委員會に於ける結果を詳說し別段質問もなく委員會修正通り可決議長より其の旨闕下に奏上入御を仰ぎ散會せり尚ほ同案は近日裁可を仰ぎ發表の筈(東京特電)

◎理事官廢止決定

現在各府縣の敎育制度は其の主腦に理事官を置き二名の視學官を監督する事となり居れるも右理事官は單に高等文官合格者と云ふに止まり何等經驗なきを以て各方面より種々批難あり勞な文部省より內務省に向つて右理事官廢止の交涉あり內務省も之を諒とし明年度より之を廢止する事に決定せり理事官廢止後は視學官制度を復活し其の人選は文部省に一任する事となれり(東京特電)

◎李王世子歸還

伊勢神宮御參拜の爲め伊勢路に成らせられたる李王世子殿下には都合に依り豫定を變更し二十六日午前五時山田驛發列車にて御出發午後八時五十二分沼津驛著三島御別邸に御歸邸成りたり(東京特電)

◎通信法規改正(中)

矢野遞信局遞信課長談

▲郵便法の部(續)

現行郵便法中には往々明文を缺き又は疑義を生ずる字句あり取扱上不便少なからざるを以て改正したるものあり例へば第二十條に書狀は小包郵便物と爲し又は小包郵便物に合裝するを得ずとあるも

▲書狀なる意味 は通信文を記載せる郵便葉書を含まざるものゝ如く誤解せらるゝ虞あるを以て之れを信書と改めたり蓋し郵便法第十八條には書狀と郵便葉書とを區別しあるか爲め單に書狀と稱するときは郵便の書狀のみの如く解せらるゝ虞あり故に信書なる文字を使用することゝなれり又第二十五條に郵便料の未納又は不足の郵便物は受取人其の不納額二倍の料金を納付して之れを受取ることを得其の納付を拒みたるときは差出人に還付し差出人より之を徵收することあるも受取人不明、受取人又は留置期限經過等受取人拒絕以外の事由に依り還付したる場合の料金徵收額に就ては現行法には明文を缺けるを以て改正法にては受取人不明其他の事由に依り料金未納又は不足の郵便物を差出人に還付する場合には二倍の料金を徵收する旨の明文を設け立法の趣旨を明にせり其他三十六條に

▲郵便物の差出人 又は受取人は其郵便物に損害ありと認むるときは其受取を拒むことを得との規定あるも立法の趣旨たるや如何なる郵便物と雖も損害あるときは其受取を拒み得るの意味にあらずして其受取を拒み得るは單に郵便官署に於て損害賠償を爲すべき郵便物に限るの意味なるを以て特に明文を以て疑義を生ぜざる樣適當の改正を加へたるものとす、右の外猶二、三の條項中法文の意義を明瞭ならしめんが爲め改正せられたるものあるも立法の趣旨に變更なきものなれば之れを省略すべし要するに現行郵便法中改正せられたる條項並に新に追加せられたる條項は約三十箇條に及べりと雖も其改正趣旨たるや大略前述せる所の如し次には電信法に關して述ぶる所あるべし

▲鐵道船舶郵便法の部

近時輕便鐵道の營業を開始せるもの續出せるを以て郵便物の運送に關し鐵道船舶郵便法の改正の必要を生じ輕便鐵道法に依り運送營業を爲す者をも鐵道船舶郵便法中に郵便物の運送を命じ得ることに規定せられたると共に郵便車使用料金の算定率を變更したる外郵便車に依らざる郵便運送は必ずしも旅客列車たるを要せざるを以て貨物列車をも利用し得ることに改正せられたるものとす右の外

▲法律との權衡 を計り刑法其の他の規定を改正したるものあり又法人處罰の規定條項を削除し實際の違反行爲者を處罰し法人を處罰せざることゝせり例へば鐵道船舶郵便法第三條に依り郵便車を聯結するの義務を怠るに不拘法人の使用人たる某驛長に於て郵便車を聯結するを拒みたるときは從來は法人を處罰せしも改正法に依れば實際の違反行爲者たる驛長其者を處罰することゝなれるものなり

◎臨時恩賜金の使途

大正三年度に於ける臨時恩賜金の決算を見るに歲入は基金利子の收入八十八萬一千七百十五圓餘、預金利子の受入八千六百九十三圓餘、雜收入二萬八千六百八十六圓餘、前年度繰越金五萬三千二百八十圓餘、基金編入金繰越一萬二千五百九十一圓餘、合計百四十五萬三千二百六十八圓餘に對し其の歲入は授產費五十九萬一千九百三十圓餘、敎育補助費二十六萬一千三百六十五圓餘、凶歉救濟費一萬四千六百七十五圓餘、恩賜金取扱費六千三十九圓餘、基金編入金七萬一千六百五十二圓餘、雜費二千七百六十二圓餘、合計九十四萬八千四百二十六圓餘にして差引殘額五十萬四千八百四十一圓餘を算せり

◎紅蔘販路擴張

北支那及び滿洲方面へ

總督府專賣課の專賣に係る紅蔘の支那に於ける販路は主として中部以南なるを以て今後は更に北支那及び滿洲方面に擴張すべく三井物產を通じ各地に見本等を送致せし事は既報せしが其の販賣活動の第一着として最近上海にて開會せし在東洋三井物產各支店長會議開催の際にも諸種協議を費やされ其際總督府より人蔘に精ある係員を派し各般說明をなさしめしが今後北支及び滿洲に於ては吉林產山人蔘に對して商戰を試み販路の擴張をなすべしと

◎國道水害復舊

土木局の修理調查

六月の大雨出水にて路面の決潰並に橋梁の墜落破損等甚だしき損害を見たる全州裡里間並に全州南原間の國道は土木局にても其の修理急施の必要を感じ水害後直ちに八島土木局技師を派して其の水害狀況を精査せしめ技師は二十五日歸任したるが其の結果南原道共產向き三千餘圓を支出して應急の修理を行ふ事となり既に該工事は全北道廳に委囑の上起工したるが一方根本的大修理は今後設計と調查を取急ぎ晚くも今秋までには着手の豫定にて目下諸般の準備を進むべし而て復舊工費は數萬圓の巨額に上るを以て多分其の支出は豫備費より支出すべしと

◎朝鮮瓦斯電氣總會

朝鮮瓦斯電氣株式會社にては來る八月二十六日東京に於て株主總會を開く筈なるが同會社は香椎社長就任以來鋭意整理を爲したるも尚ほ充分の成績を擧げざるを以て今期配當は昨年通り五朱位に止るべく香椎氏は總會に列席の爲め來月五六日頃上京すべしと

◎保護者會近況

仁川保護者會は二十四日午後八時より役員會を開催せるが同會の近況を聽くに大正四年四月より本年三月に至る保護者會收支は收入金二千五百七十四圓九十五錢支出金二千百三十九圓四十錢にして差引金四百三十五圓九十一錢を次年度に繰越したり同會は朝鮮人學校補助機關にして從來兒童敎育上學校と相俟ち貢獻する處少からざるが目下同會の事業とする處は小學校全生徒に對し國語讀本、算術敎科書、習字帖筆紙墨等を供給し此外硯、算盤、記帳等の學用品及び敎科書等をも供與する事とし事業の發展と共に漸次一般學用品をも供給せん方針なる由にて昨年度中に於ける會費の狀況は本年三月末日現在生徒一千四百三十九名に對し未納者は僅に三十三名に過ぎず是れ會の趣旨漸次貫徹したる結果なるが如きも事業收支の狀況より觀察する時は少しく遺憾の點なきに非ず乃ち大正四年度に於て生徒一人に對する一箇月支出高は十三錢五厘なるに加入平均額は十三錢四厘に過ぎずして平均一厘宛の不足を告げつゝあり況んや本年に至りては歐洲戰亂の爲め代價暴騰を來し支給品中最も多數を要すべき雜記帳の如きは倍額以上に騰貴したるを以て同會理事者は之れが收支調節上一方ならず苦心し居れりといふ因に同會事業に對し仁川土井伊右衛門及び米安護會係三郎の兩氏は今般各金五圓宛を寄贈せりと(仁川)

◎電氣協會總會

朝鮮電氣業者より成る朝鮮電氣協會にては來る十月初旬釜山に於て總會を開くことに決定せしが諸種の提案を議したる上東萊溫泉に於て懇親會を催すべしと

◎銀行券發行高週報

十六日より二十二日に至る一週間の朝鮮銀行券發行平均高は左の如し

正貨準備發行平均	一〇、四三二、七九七圓
保證	一八、〇〇九、一六四
總額	二八、四四一、九六一

◎天安牛皮改良組合

天安郡は南鮮有數の牛皮出產地にして一箇年四千枚以上價格金六萬圓に達し地方最も重要物產の一たるも從來の乾燥方法頗る不完全にして概ね路上に放置し土灰を撒付し自然の乾燥に委し來りたる爲め聲價揚らず將來輸出上の信用失墜を免かれざるに至るを遺憾とし同地舟戶氏は郡內營業者を代表し牛皮改良組合設立方を其筋へ出願認可を得て工場建築中なりしが此程完成したるを以て不日乾皮製造に著手する筈尚同組合は附屬事業として牛の買入資金の融通及び牛皮共同販賣等をも爲す由

人事消息

▲芳賀榮次郎氏(總督府醫院長) 今朝水原へ
▲蘇原貢美氏(三井物產副支配人) 二十七日出發二週間の豫定にて東上の筈
▲宮木又七氏(全南長官) 廿六日夜着大邱へ
▲木村雄次氏(鮮銀理事) 鎮南浦より二十七日の夜行列車にて東上の筈

南言北語

アー暑くなつたと吐息して見た處で炎帝は至公至平暑氣から逃げ出す事は出來ぬ▲斯う暑くなつては堅くるしい事は眞ッ平今日は一つ浴衣がけの處を伺がう▲故人となつた英國の偉人チャンバレーンの未亡人が一牧師と婚約したと云つて世界の新聞を賑はしたが▲例のタイタニック號で慘死した米の富豪アスターの未亡人も夫の遺產五百萬弗を棒に振つて此程チックと云ふ一青年と戀に落ちたと云ふ▲貞婦二夫に見ゆる西洋の道樂者にも困つたものおや▲文部省の福原次官と云へば實に無頓着を以て有名な人である▲手紙なども見もせぬ中に鼻をかむのは有り勝で時々飛んだ間違を遣る▲先達は手紙の日附丈見て前の月に濟んだ宴會へノコノコ出掛たので大笑ひ▲外務省の若手のチャキチャキ小松欣一侯の芝居好は有名で其の道にかけても玄人跣足の眼識を有して居る相な▲就中聲色と來たらお手に入つたもので中でも左團次の丸橋忠彌なぞはソックリだと云ふ▲殊に珍なのは袁世凱氏の聲色で其の抑揚態度と來たら袁氏と寸分の違がないとの事▲袁氏も知己を得て地下に苦笑して居るのだらうとの評判▲小田原に避暑中の大島大將は每日晝食後『食休みだ』と云つて近所の茶屋所へ行く▲面白くなると每日夕方迄歸らぬ若し要用でもあつて呼びに行と『食休みだから鳥渡待て』は振つて居る

□仁川對支那三港の經濟關係(一)

青島、上海、營口との貿易、爲替、航路關係

京元線の開通以來元山港の將來は頗る有望なりと期待せらる、一方に於て其の築港が完成するの曉仁川港の支那諸港に對する經濟關係は極めて密接なるものあるべく、茲に仁川の青島、上海、營口三港に對する經濟上の關係を(イ)貿易(ロ)爲替關係(ハ)航路の三點より見て記述し讀者の參考に供せむとす

▲▲▲仁川對青島關係▲▲▲

(イ)貿易 仁川青島間の貿易は日獨戰爭前までは殆ど見るに足るものなく其の貿易額も僅かに一千圓に滿たざりしが大正三年には輸出一萬圓に上り尚四年には一躍して遂に五十二萬餘圓の貿易額を算するに至れり

	輸出	輸入	合計
大正四年	四五〇、一九一圓	七一、〇〇三圓	五二一、一九四圓
同 三年	一〇、三三六	……	一〇、三三六
同 二年	一七九	三	一八二

▲輸出入品數量及價額(大正四年度)

▲輸出品

品名	數量	價額
米	二一、一六二石	二八一、〇〇六圓
醬油	六四、〇三三升	一一、〇八七
味噌	一〇三、七四〇斤	三、七六八
人蔘	五〇斤	一、一三〇
紙卷煙	一〇四、七五〇千個	一一、三九八
其他		四二、八〇二
合計		四五〇、一九一

▲輸入品

品名	數量	價額
食鹽	八七、八九一擔	三九、五五二圓
生乾鹽	一四四、三四六斤	七、〇九九
果實	二五七、九七七斤	一二、〇二〇
雞卵	二、九二〇斤	三五〇
木材		三三四
石炭	二五三噸	九〇六
其他		一〇、七三三
合計		七一、〇〇三

更に輸出入品に就て見るに輸出にありては米を首とし紙卷煙、醬油、味噌等にして其を除き他は總て日用必需食料品なり、輸入品は食鹽、生乾鹽果實其他二三種にして均しく食料品に過ぎず、次に大正四年に於ける貿易を大正三年に比較するに輸出品は孰れも一齊に增加の趨勢を保持せるも就中米は勇躍實に百數倍の多きに達せり、之れ言ふまでもなく青島の一度開放せらるゝや邦人の移住するもの續々相踵ぎ進んでは山東鐵道沿線へも入込み茲に米の需要は著しく喚起せらるゝに至れるに因る、而して仁川港は其地の利を得たると精米業の發達とは相俟つて此の如き貿易の昂進を促がすに至れり

(ロ)爲替關係 前述の如く輸出品が大部分米穀なるを以て金融業者に融通を仰ぐ手形も全部米穀手形なり手形期間は種々に亙ると雖も、普通八日乃至二十日とす、而して支拂方法はD.P式多く、P.A式は僅少特殊の取引關係の場合に由るが如し、取組先は同地精米業者力武、庄野、天日等なり最近取組高は左の如し

年次	日數	金額
大正四年上半期	三九	一九、〇〇一圓
同 下半期	一八	五、三二六
同 五年上半期	一三	六、九四八

(ハ)航路 青島と仁川間は日獨戰爭前迄は定期航路なく單に戎克船の來往ありし位に過ぎざりしが翌年朝鮮郵船會社は青島開放と同時に該航路を開始し逸足江原丸をして仁川青島間を直航せしめ大連を寄港とし以て交通運輸の衝に當らしめつゝあり江原丸は一千噸に滿たざる一小汽船なれど每月二、三回の往復航海は貨客の來往に敢て不便を感ずることなきが如し、其他帆船として戎克船不定期に來往し原鹽、果實、野菜類を積載入津す

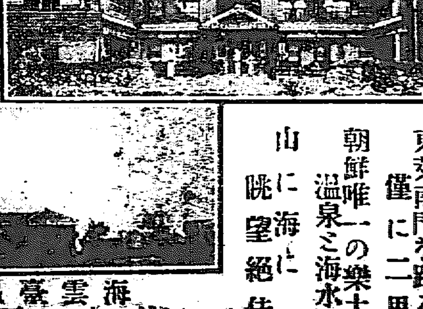
◎脚氣病中毒說

[illegible]居る醫學士[illegible]氏が發表した研究事項は勿論斷定した譯ではないが[illegible]口腔內の知覺が鈍り下肢の運動障碍を來す症狀が丁度脚氣患者と同樣な[illegible]見した脚氣が果して中毒症とすれば[illegible]り、腰と四肢は全く麻痺して了つた[illegible]同五時三十四分から苦悶を始めて遂に五時四十三分に斃死したのである[illegible]死することを實驗した[illegible]原は米飯にあると云ふ[illegible]目目で後肢に麻痺を起した然し採取した血精を以て動物試驗を行つた[illegible]のか又は體內から產出するものかは今後十分研究する[illegible]

內科 小兒科
京城府龍山元町(憲兵隊側)
幾野醫院
(入院隨意) 電話二〇四番

弊店儀今般紐育スタンダードペイント會社の推奬に依り朝鮮總代理店の契約仕候に就てはラバロイドルーフイングの販賣は勿論同品應用諸工事一切遺漏なく施行仕る可き準備相整へ誠實に貴需に應す可く候間何卒不相變御引立の程奉願上候
追而定價表及び見本御入用の節は御一報被下度送呈可仕候

最良毛製屋根葺材料
ラバロイド
朝鮮總代理店
釘本藤次郎本店
京城本町二丁目五八
電話 長 二二四〇七



海雲臺溫泉場
海雲樓
東萊南門を距る僅に二里
朝鮮唯一の樂土
溫泉と海水浴
山に海に眺望絕佳

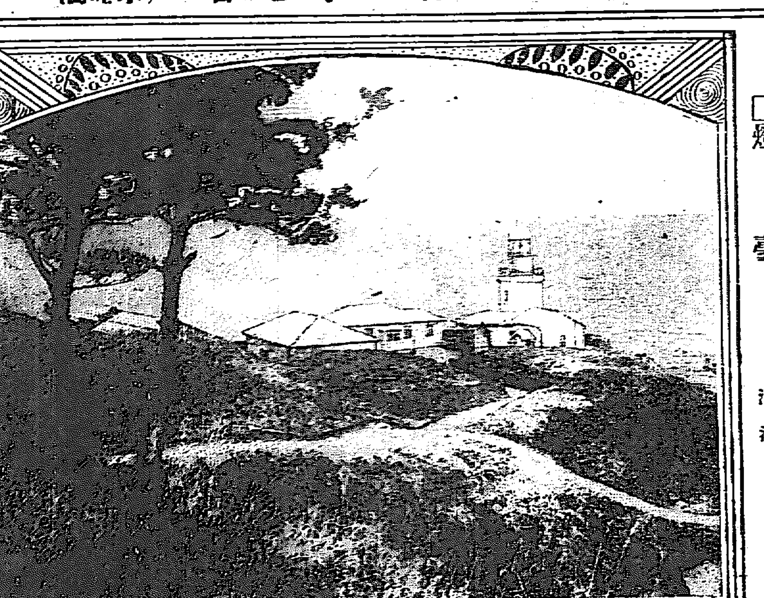
東萊南門より
人車片道 五十錢
馬車片道 三十錢

宿泊料 一等 一圓八十錢 二等 五十錢 並等
座敷料 一回に付 一等 五十錢 二等 卅五錢 並等 二十錢(此場合は間代無料)
晝食のみは六十錢以內 茶代は一切申受けず
一週間以上の滯在は割引す

製氷界の親玉
各府院御用達
◎衛生的經濟的 冷藏函及冷氷 販賣仕候
朝鮮製氷社
京城漢江通
長電話五二三番
◎我が製氷社製氷は天然氷より長時間保存に耐ゆるは實地試驗の結果證明する處なり

……分たるものが發見され然るに近時……國大學皮膚科土肥教授指導の下に河……に從事した結果漸く脚氣患者の血……帝國大學皮膚科土肥教授の研究室に豚毒を研究中ふと河豚中毒者の舌及……から脚氣毒と斷定し得るものを發……氣が著しく減じて步行が困難にな……でも全く痲痺して、更に痛覺が無く……重症であれば注射された兎も直に斃……米と水で飼養した處が或る程ま四十……ものと認定するのであるが要するに余……の所謂脚氣毒は外界から侵入するも……

□燈臺……清津……



涼味（七）

◆裏日本に似た清津◆

◇清津の街から海中に突き出た半島の高抹山は四季折々の眺め佳ならざるなき勝地であるが、殊に夏から秋にかけて最も眺めがよい。◇東の方館に碎くる日本海の怒濤はいはずもがな、西方には鏡の如き清津灣を隔て、輸城の平野は一眸の下に集り、遙に白頭山の支脈南羅嶺の逶迤たる蜿蜒の翠に盡むところが由來る。◇更に眼を脚下に轉ずれば高山に咲き亂れた高草は、紅紫黃白の錦繡を織出して居る。◇北內近は裏日本の海岸によく似て、懸崖絶壁、水清く波穩く、必ずしも海水浴の好適地ではないけれども景色としては申分ない。◇番山若しくは元山より朝郵の便船に投じ、半島東北沿岸の風物を賞し、且つ涼を探りつゝ進んで國境視察を企つるなどは夏の旅行として最も氣の利いたものであらう。

◇　◇　◇　◇　◇

觀光地東洋　—2—

▽旅客とホテルの設備△　▽新發見の名所金剛山△

トーマスクック東洋總支配人　グリーン氏談

クック社の經驗によれば旅客が帶て一箇月の旅行を爲した地方に再び旅行する樣な事があるとすれば其時は乾度二箇月、三箇月と云ふ日數を準備して來る殊に今日に於て

▽東洋の觀光　にはどうしても鮮くも二三箇月を費やさねばならなくなつて居る歐米の旅客をして如何にして東洋に多數を引き得べきか又之を如何にすれば長く滯在せしめ得べきかと云ふ問題に就ては予の出發前に鐵道局の木下運輸局長とも大に話し合つた事だが旅客にとり最も必要を感じさせる事は言ふ迄もなくホテルの設備奈何にあるが旅行者の最も

▽愉快な事は　豫期せざる處に豫期せざるホテル設備のある事で設備の完成した地方に行けばつひ旅程を延しても豫定以上の觀光をする氣になる旅客の足をして二日のものを三日とし一週間の豫定を十日にさせ乃至一箇月の旅程を二箇月三箇月に延ばさせると云ふ事は觀光地方に最も力ある効果をなすのはホテルの設備奈何である予の如きも京城で豫定以上の日子を費やさせられたが之と云ふのも全く

▽朝鮮ホテル　の設備とミスター猪原の厚意ある接待の爲めであるホテルの設備と經驗者の適任を得る事は旅客をして非常なる喜悅を覺わしめるものだ朝鮮鐵道が金剛山と云ふ埋沒せられた名勝を發掘して世界に紹介したと云ふ事は非常にいゝ事である例へばアメリカのエローストーンパークの如く又はヨセミテヴアレーの如く一地方を區輸して之に公園的設備を加へると云ふ事は旅行客にとり此上のない福音と言ふべきで日光だとか箱根だとかは既に

▽世に知られ　た事で誰一人知らぬ者は無いのだから行かうと思へばすぐにも行けるのだが金剛山の如きは行かうと思つても仲々行けなかつた夫れが新に交通が開かれたと云ふのだから非常な福音と云ふべきである予は今度の旅行では殘念ながら金剛山に行けなかつたが二三箇月中には更に上海から出直してきて是非觀光したいと思つてる然し予は京城に來て知り得た金剛山に就ての報告を早速倫敦の本社に出して置いたから三四箇月の後には雜誌に載つて世界中に紹介される譯だが思ふに旅客は此新發見の名勝に對して好奇の眼を睜るであらうと思ふ（をはり）

□李王世子殿下

李王世子殿下及び隨員九名は既報の通り二十五日午後八時山田著十五樓に御投宿二十六日午前八時神宮御參拜の上二見ケ浦賓日館にて御晝餐御遊覽の後自動車にて鳥羽港に成らせられ伊勢灣の風光及神島の無線電話を御覽あり十五樓へ御歸還廿七日午前八時山田發岐阜に向はせられ鵜飼を御覽ある由尙山田市內小學校生徒二千餘名は提灯行列を爲し永田知事よりは三重縣先賢遺芳一冊、螺鈿細工手箱一個、果物一籠、志摩郡和具村產天然眞珠等を獻上する筈（大阪）

◉美術院審査員

文部省美術院審査員は二十六日發表せられたるが審査員の顏觸は既報の如く日本畫は從前通りにて西洋畫に和田三造、南薰造、彫刻に朝倉文夫木村四海新任せられたり（東京特電）

◉選擧投票無効

石川縣選擧事件言渡

石川縣選擧事件は二十六日大阪控訴院にて審理の結果投票全部無効訴訟費用は被告の負擔とすとの言渡しあり即ち政友會の勝訴に歸したり

□鰻の話

土用の丑の日に何故鰻を喰ふか

今日は土用の丑の日である、內地人は此の日鰻を食へば夏痩せを防ぎ時疫を免れるといつて身分の上下を問はず爭ふて之を喰ふ、此の濫觴は天明時代の智慧者平賀源內が死んだ鰻の處分策を講じたに初まることは人の知る處だが元來うなぎは●むなぎ●から轉化した言葉であつて其の語源は形が棟木に似てゐるからだともいひ又は

▽胸の黃色い處から　附なのだとも唱へられるそれは孰方でもいゝが上品な魚でこそ無けれ、喰つて美味なことは川魚中之に及ぶもの丶無いのみならず萬病に靈驗があるといつて遠く奈良朝時代から藥餌の料となり近頃では肺病患者を捉へて蒲燒の香を嗅がす事が流行するが歐洲でも局部の痲痺質斯には此の皮を貼るそうである、扨て鰻の產地は內地では江戶川、隅田川を筆頭に遠州、三河、尾州、仙臺、上總、下總、常陸、近江、播州、伯耆、出雲、備前、筑前、筑後などが有名で一箇年の漁獲高七十四五萬貫に上り其の價額百三十四萬圓を算してゐるが朝鮮では一箇年の

▽漁獲高は約八萬貫　其の價額七萬圓內外で全南の三萬貫、慶南の二萬二三千貫京畿の五千貫などが主なものとなり北に行くに從つて少くなる。併し至る處に棲息する事は論ずる迄もない朝鮮人は蛇に似てゐるとて之れを喰はぬから內地人間には多少の需用はあるが大部分生きた儘若しくは蒲燒の罐詰として內地に移出する。日本では之れをサヂ、アオ、ゴマ、ゲイタの四種に分けてゐる。サヂ鰻は背が薄黑又た褐色で腹の方に行くに從つて薄くなり、腹は淡黃若くは白色である。東京では

▽之れを江戶前と　いつて鰻中の最上品となり、朝鮮でも漢江の鰻が美味いのは此の種類が多い爲めださうである、アオ鰻は一體に肥滿し背は蒼背又は暗綠色で腹は白いのが普通だが偶には黃色いものもある、養殖場から出る鰻には此の種類が多く其の味はサヂ鰻に次ぐ、其れからゴマは背が黑褐色に胡麻の樣な斑紋があり腹は薄黃か白色で其の肉甚だ不味く東京邊りの辻賣は大抵之れを使ふてゐる、又たゲイタ鰻は頭が馬鹿に太くて尾が急に細く背は泥褐色で

▽鰻中の最劣等品　となり蠻喰ひさいふ異名がある。鰻は孵化後二年を經ると雌は大群を成して堂々河を泝上し夫れから四年の月日を重ねて生殖器の圓熟を俟ち九月から十一月頃を計つて再び海に入る、而して海中で待ち詫びた雄と交尾し千米突から二千米突の海底、水溫七度內外の箇所に產卵する、其の卵は馬鹿に小さく〇、一八九ミリメートル乃至〇、二ミリメートルに過ぎぬから顯微鏡の力に依らなくては判らず又た雌雄は其の生殖器を解剖しなければ鑑別がつかぬ鳥の雌雄は毛を吹いて識るが

▽鰻の夫婦は殺して　見なくては判らぬから面倒である、專門的の話しは此の位に止めて置いて最も普通的で且して最も美味い蒲燒の語源を一言せう。抑も鰻の料理法といつば昔しは丸のまゝ串刺とし鹽燒にしてクシヤ〳〵やつたものだが其の後漸次進步して天明年間江戶は濱町河岸の大黑屋が始めて今日のカバ燒きを賣り出し京橋尾張町の蒋々木が之れを蒲燒と命名して蒲燒の字を書いた、之れは昔し

▽串に刺して鹽を　振つた鰻が蒲の花に似た爲めだともいひ、燒いた色が蒲の皮に見へるからだともいふが何れも附會の說で、眞はそれを燒く香が何よりも疾く鼻に入るから『香疾き』といふ理由から來たものである

◉甲板上の葬儀

敷島艦遭難職員の火葬

敷島遭難者の葬儀は分隊長仲大尉委員長となり二十四日午後一時艦內の前部中甲板に設けたる祭壇に於て急電によつて參集せる數十名の遺族及び吉田艦長以下將卒參列して棺前祭を行ひ導師の讀經遺族及び艦長以下順次燒香をなし午後二時同艦出發第一上陸場より上陸各銘旗を先頭に遺骸は各砲車に安置し山下長官村上艦隊司令長官敷島を首め鹿島、香取、肥前、香羽其他よりも贈れる花輪生花等數十對並に三艦隊及び陸上各部隊の將卒會葬列十五丁餘に及び順路名切火葬場に著山下鎭守府司令長官、村上第三艦隊司令長官、吉島第三水雷戰隊司令官以下各部隊艦長遺族の燒香あり終つて遺骸は同火葬場に於て荼毘に附したり（佐世保）

◉嫉妬の呪ひ火

▽怖ろしい女の一念

江原道華川郡々內面下里生れの李姓女（三）は夫と共に同里の李復來方の一室を借受け居住中其の隣室を借り居れる華川郡書記北歌允より依賴を受け部屋の拭掃除をなし居れる內北歌允と私通するに至りしが一方李復來の妻羅姓女も間も無く北歌允と情を通じたるを李姓女が知り嫉妬の焰抑へ切れず遂に羅姓女と不和となり羅姓女夫妻は種々の口實を以て李姓女夫妻を追放したるより之を怨みたる李姓女は同家を立退きの際衣類四點を竊取したる上本年四月二日夜は古綿に炭を包みて李復來方に放火して物置小舍を半燒せしめたるも尙飽き足らず六月三日正午頃にも前同樣手段にて燒跡を修繕したる箇所に放火して藁屋根全部を燒失せしめたる事件は此程京城地方法院の公判に附せられたり

◉逃亡俘虜自白

久留米俘虜收容所の逃亡俘虜に關する怪事件は憲兵隊にては一先取調べを中止せしが二十三日午後二時再び俘虜を步兵第四十八聯隊の營倉より引出し憲兵分隊にて取調の上二名共分隊に拘留せり取調の結果は日本人の手引ありたる事を自白せるが憲兵分隊にては其取調模樣の洩るゝを恐れ此日より一切立會者の入るを禁止せり（久留米）

◉飛行機差押らる

二十三日高松に於て行はれし白戶氏の第二回飛行は午後四時九分離水し三百乃至四百米突の低空にて二回大圓形を描きて巧に飛行し次で第三回目の水上滑走を行ひ同十五分無事終了したるが機を水面より陸上に打揚げるや待ち受けたる高松區裁判所の執達吏山田爲義等三名は直に飛行機を差押へたり原因は債權者たる滋賀縣大津市四宮町富岡米吉にて過日琵琶湖にて飛行を中止したる時手附金五百圓を拂戾さゞりし爲ならんと云ふ數千の見物人は呆氣に取られたり（高松）

◉夜市荒しの小泥棒

住所不定の崔漢某（三）は七月十五日夜太平通の夜市にて奧村某の露店より猿又一枚を拘攫したるを手初めに同夜外數箇所にて襯衣、寢脚絆、麥藁帽子其他を掠つ逃びたる上次は鍾路通りの夜市を荒さんと徘徊中を鍾路署の手に逮捕されたり

◉京釜線の延著

去る二十四日午前七時二十分頃風雨の爲め京釜線院洞三浪津間の山裾崩壞し約二百才位の巨石其他數十個の石塊線路に墜落し之が爲め列車は一時不通となりしが同午前九時五十分復舊したり爲めに同日午前六時五分釜山發列車は二時十分同八時四十五分釜山著列車は一時五分延著したり（釜山）

◉釜石町の大火

二十三日午前九時巖手縣釜石町濱岸より出火忽ち四百餘戶全燒し役場にては書類燒失し同十二時鎭火したるが損害多大死傷十六人あり（東京）

◉平壤初日勝負

平壤に於ける東京大相撲二十六日の初日は天氣快晴、場內忽ち滿員の盛況を告げた重なる勝負左の如し尙二日目は本社支局お好み飛付五人拔きあり（平壤特電）

勝	負	勝	負
朝日山	兒島洋	成瀨山	綾鶴
大門岩	駒泉	常の花	一湊
▲中入後			
龍ケ崎	四海波	逆鉾	稻葉嶽
岩木山	梅川	朝緑	近江富士
小常陸	宮城山	大の川	紫雲龍
釋迦嶽	源氏山	宇都宮	兩國
九州山	栃木山	大錦	綾川
西の海	對馬洋		
▲番外御好み			
宇都宮	栃木山	岩木山	宮城山
對馬洋	栃木山	紫雲龍	四海波

◉黃氏の秘書來る

廿三日朝神戶に入港の郵船熊野丸にて來朝せる一等船客中に林辰と稱する支那人あり同氏は黃興の秘書にして今回東京にある黃興の住宅及び革命黨事務所等の跡始末の爲め上海より來れるものなりとの由にて上陸後湊川岸西村に入り同夜六時半神戶發列車にて東上せり（大阪）

◉性相學講話

石龍子高弟隈本氏の性相學講話は二十七日午後二時より光化門通り京畿道廳內にて開催道廳及び鐵務部職員聯合にて聽講すべしと

◉稅關給仕採用

京城稅關出張所に於ては內地人給仕若干名募集採用す應募者は十五歲以下にて自筆の履歷書携帶本人出頭すべしと

—運動欄—

▲倘武會土用稽古　大邱倘武會にては會長小倉良則氏の歸邱を待つて去る二十日より八月三十日まで土用稽古を開催したるが目下各方面より歸休中の中學生其の他の青少年の出席する者非常に多く百名に達せんとしつゝあるが倘ほ精神修養の一助として午後四時より五時迄希望者に論語の講義を爲しつゝありと

演藝

△黃金館　二十七日より全部差替ふる筈なるがお馴によつて西洋劇に日本物の新劇を巧みに配したるはよく盛況して一般に待ち頗つゝある名金の書きはいよ〳〵次回八月三日より上場の事となれりその重なるもの左の如し △寶島ヨセツトの山岳△軍帝活劇愛の勝合全三卷△……

△大正館　評判のハートの3は愈々今晩を以てお名殘り興行としたる事とて初日早々大入を呈し居れり

△浪花館　東京落語三遊亭遊三一行の落語中

讀者文藝（一等には五十錢の賞品券を呈す）

△狂歌（驟雨）

○折角の晴れの見合を驟雨ふられて顏をみづの泡かな（一等）　龍山元町二　岡本小草子

▲君子國に胡瓜泥棒の濃衣を干せど乾かぬ驟雨　深川　緋鯉

▲殴合の蹄り出會ふた驟雨洗禮受けて信者アーメン　龍山　朴金仁

▲洗濯をあげて驟雨の五分間濡れるぞ濡れし　利川　ふの字

▲注意で逃ふたが鍵の端となり角下氷人は驟雨なりけり　木浦　岩津ナスシ

題	締切	發表
俗謠『夕顏』	締切廿六日	發表廿八日
川柳題『白』	同廿七日	同廿九日
都々逸『馬鹿〳〵敷いものは』	同廿八日	同卅日
一口噺題『はめ畫』	同廿九日	同一日
謎題『暑中休暇と掛けて』	同一日	同三日
次回狂歌『燈草』	同二日	同四日

▲募集規程　▲川柳は端書又は同型の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲投稿は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事總て一題二句以內の事▲此規程に違ふものは沒書

山縣五十雄　村上唯吉共著
富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢
京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

第拾期營業報告

貸借對照表

負債之部	
資本金	五〇〇、〇〇〇、〇〇〇
諸借入金	五〇、貳四〇、六〇五
諸積立金	五參、〇〇〇、〇〇〇
配當未濟金	壹九四、七五〇
當期利益金	貳壹、四〇四、六貳〇
合計	六貳四、八參九、九七五

資產之部	
未納資本金	參七五、〇〇〇、〇〇〇
諸貸付金	壹參參、貳六六、參〇〇
任賃金	九貳、九九四、六五〇
家屋及什器	貳〇、六九七、五〇〇
假拂金	參八七、〇八五
金銀	貳、四九四、四四〇
合計	六貳四、八參九、九七五

利益金勘定	
當期純益金	壹貳、五七九、壹六五
前期繰越金	八、八貳五、四五五
合計	貳壹、四〇四、六貳〇

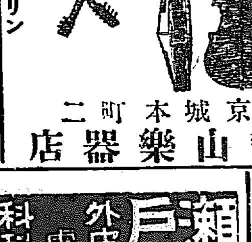
內譯	
諸積立金	五、〇〇〇、〇〇〇
配當金（年壹割）	六、貳五〇、〇〇〇
役員賞與金	九〇〇、〇〇〇
後期繰越金	九、貳五四、六貳〇

大正五年七月
京城鍾路二丁目十三番地
廣業株式會社
社長　尹致昭

新刊書御案內

書名	著者	定價
◎商店繁榮策	圖城寺良	一、八〇
◎最高效率新商略	秋山紅之助	一、二〇
◎活きて働く商業者簡文	千早正寬	一、〇〇
◎商賣繁昌の秘訣無駄を省く法	佐々木十九	八〇
◎最新商用みやげ世界商業百談	石井研堂	八〇
◎世間で求むる理想的社員	山木邦之助	八〇
◎店員修養ポケットブック	蒔田	四〇
◎クラーク入門	商業叢書刊行會	四五
◎模範小賣店經營法	佐々木十九	八〇
◎店頭裝飾術	清水正己	一、二〇
◎新式販賣術	井關十次郎	一、五〇
◎飾窓の飾方	井關十次郎	一、五〇
◎廣告の仕方	同	一、五〇
◎自由自在廣告法	平岡敬二	八〇
◎廣告と販賣	佐々木十九	一、三〇
◎模範廣告術	同	一、二〇
◎必勝賣る法買せる術	依田商學士	七〇
◎客引策と賣出法	井關十二郎	五〇
◎第二現代式廣告文句	清水正己	三〇
◎廣告カットと廣告文句	同	三〇
◎實用計算法秘傳	佐々木政吉	五〇
◎朝鮮之金鑛	川崎繁太郎	一、〇〇

大阪屋號書店　京城本町二丁目　電話二〇八六　振替京城二〇三

勢山バイオリン　鈴木バイオリン

京城本町二　勢山樂器店

第四回目　世界的大寫眞　3のハート　廿六廿七二日限　大好評の　瓢館

あらゆる他人の惡氣を豫防す
カオール

海に山に何處へ行くにも肌身離せぬ衞生口錠
大高評のヒスイ色まが玉形カオール一袋添付卅五錢
●弗入形卅八錢●袖形廿五錢●袋入五錢十錢●箱入廿五錢一圓
東京 安藤井筒堂
關西總代理店　大阪　藤森源之助

瀨戶皮膚外科醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士　瀨戶潔
診察夜九時まで
（電話二四九八番）

十二指腸蟲病
說明書は往復葉書に市込矢鄕進呈
大阪府東城町　電話四六三番
水田藥院

女鳩

渡邊默禪

『五七』 復讐します

事實猫に相違なかつた。けれども神經的に怯え切つてゐた輝子のちやうど寫眞乾板の感光紙のやうに鋭敏になつた視界からもう一つの或る影像が見のがされてゐた。それは二人にとつて戰慄すべきほどの怖ろしい敵であつた。

咲くだけ咲いて、もうぼたりぼたり大きな花瓣を地にたゝきつけてゐる木蓮華の、淡雪を散布かせたやうな下蔭に踞んで、闇にほのめく沈丁花の葉越しに睨とこつちを覘ひ詰めてゐる目。それが猫以上の輝きをもつてまともに二人を射るのであつたが、いや、耳もある。可なり低い話聲だつたけれども、聞かうと思つて注意すれば、聞かれないほどの遠い距離でもなかつた。

『それでさ、私が今日の假裝會にこんな尼さんの姿をして來たのも意味のあることで、ちやうどお前のお父さんの命日だから、日本ならばその菩提を弔う爲とでも言ひませうか。最う神さまの許にかへつてゐるマルラーさんの天上の祝福を祈らうといふ心と、一つはその日を記念する心と、この姿でお前にその話をしたら一層思ひ出が深からうと思つたのと、それやこれやで態と妙な趣向をしたんです。あゝ解う〳〵、お前に見せるつもりで、マルラーさんの寫眞を持つて來ました。さアお目に懸りなさい。これがお父さんですよ』

輝子は忙しく袖袋に手を差込んで中から一枚の寫眞を取出した。泣き續けてゐた秀子は、急いで眼を拭きながらそれを月明りに翳して見た。既に十數年も經つてゐる古い筐だつたけれども、不變色の白金ブロマイトだけにまだ分明としてゐた姿は、運動服を著て手にラケットを持つて、そして鳥打帽を冠つた若い男の――活々とした眼つきに表情の籠つた顏の輪形に鼻のつんと立つた、耳の大きい面貌だつた。

秀子は熱した瞳をそれにひつたりと吸ひつけてゐるうちに、譯もなく悲しくなつてぽろ〳〵と落涙した。接吻しやうとして唇まで持つて行く間に、父の姿は雫したやうに濡れた。

『ね、ですからさ』秀子は瞳を瞬つて耳端で囁いた。『今の大河野なんかあかの他人でせう。實際の親子といふのなら考へ物だけれども、他人なら御前、何を爲やうがお構ひなしだつたでせうか』

『さア、解うかも知れないわ』

『貴女にも罪がありますけれども、之は境遇が境遇ですから、仕方がないとしまして、一番僧いのはお父さんの手から戀と名譽と位地とを奪ひとつて、そんな慘酷な目に遇はせた勝利者の大河野です。今のお父さんです。私しを此年まで養育してくれた恩誼はありますけれども、それは餘儀なくてせう。名譽を保護する爲に止むなく私しの體を引取つたんですから、心の奧から迸しつて出る眞實といふものはないでせう。いはゞ父としての愛のない、只一つの物質として取扱つてくれたゞけですもの。私しだつて恩惠だとは思はれませんわ。怨こそあれ恩なんか些とも有りはしません』

『そこですよ、其處です〳〵』輝子は唆しかけるやうに言つた。『ですから舵と私……あれね。可いから無遠慮にやつて御覧なさいよ。取れゝば取つただけの利益があるぢやないか。』

『ね。』秀子は父の寫眞を顏から放して、抱きしめるやうに胸の所で抑へながら言つた。『私し考へますと口惜しくなりますわ』

『何がさ』

『このお父さんは今のお父さんと戀仇であつたんでせう。中に母樣といふ戀人を挾んで、ハートとハートの戰をしたんですわね。それが此のお父さんの敗北になつて、手痛い痛手をうけたんですわ。會社の方を罷めさせられた上に、熱心に戀した貴女を勝利者の敵の手に奪はれて、悄々と國に歸つて行つた時のお父さんの心持は、私、どんなだつたらうと思ひますわ。米國でお歿なりになつたこいふのも、それが原因ぢやなかつた』

『どうおしだね』

『ふ、復讐します。お父されに代つて二十年前の復讐をしてやりますわ』

はい、私し、け、け、決心しましたわ』

秀子の眼の色は變つてゐた。

南米倉町韓市場通仁濟病院跡　內科外科　花柳病　入院隨意　上野醫院　電話二九三四番

□大田湖南吟社第八回例會句集

竹植ゑて多少の風や外國　中京
甜味噌の瓜の茶漬や里戀し　同
木太刀響て鞍馬の奧や閑古鳥　春三女
氷割る山氣に詩腸涼しけき　同
兩國の橋の人馬や氷店　同
脫監の囚徒捕ふや瓜畑　同
搖瓜や泊りを去にし不時の客　同
病む親に兒猿の愛や閑古鳥　雅溪
柚の家棺守る夜や閑古鳥　同
朱門寺の古き仁王や閑古鳥　同
竹植ゑて紫煙絲曳く白檀香　同
天狗杉の老も鞍馬や閑古鳥　千里
斧入らぬ蟬落つ山の閑古鳥　同
根切蟲つぶす小鍬や竹醉日　同
鹽鱒や燒酎に醉ふ立場茶屋　同
湯氣匂ふ蜂の藥師や閑小鳥　可觀
氷店暖簾に美妓の紋づくし　同
小鯵燒く串簡りけり朝涼に　同
女優劇の大氷柱や花電燈　淡水
甚句炊く煙稀れなり瓜の里　同
竹植る日七賢人の軸掛けし　同

新刊紹介

▲日本發祭新聞（三七四）　東京市芝區愛宕町二の一四其社
▲葬（九二）　十八錢大阪市東區今橋五の一四築西園叢會
▲フースヒー（二二）　五錢東京府下澁谷一二三其社
▲生活の力（四八）　一錢東京市京橋區木挽町六の一〇其社
▲角力世界（七月號）　十五錢東京市京橋區築地二の二五角力同好會
▲良民（七月號）　五錢東京市麴町區平河町五の三六其社
▲通俗電氣世界（七月號）　五錢東京市麴町區有樂町の三電氣の世界社
▲婦人週報（二の三〇）　夏期休暇の利用、エレンケーの戀愛觀と貞操觀、文字の上から見た女等　四錢東京市牛込區市ケ谷田町二の一七其社
▲英語研究（八月號）　實際の活用と、實力の養成とに資する家庭英語雜誌中有益なるもの多し（十二錢東京市芝區南佐久間町一の一其社）
▲美術と日本（八の七）　法隆寺、藥師の年代と其の系統、繪畫上より見たる日本の風景、美術鑑賞界近時の傾向に顧みて等諸篇を蒐む（十二錢東京市京橋區新肴町一三藝美書院）
▲東洋時報（二一四）　朝鮮木材事業及朝鮮移民論等の外滿洲政策に關する記事を載す（東京市麴町區內山下町一の一東洋協會）
▲文藝月報（七月號）　[illegible]
▲學生（夏期休暇號）　[illegible]
▲朝鮮の研究（七月號）　[illegible]

讀者の聲

▲夜市を施し避ける掏兒が顧客の風を裝び露店の商品を掠つ淡つて行く朝鮮人があるから成るべく多數の警官を巡廻させるやうにして悉く檢擧して貰ひたい（これられた生）

▲此頃の暑さに日中酒を飲つて泥醉し路傍を徘徊する者の氣が知れぬ、殊に喧嘩を吹つかけたり飲食店で喧嘩したりする者も少くない、隨分傍迷惑な事だ（黃金町坊）

▲京城の水道巡視は大した勢ひで違反者と見れば叱り飛ばした上に容赦なく告發してゐる相だ他人に水道栓を貸したり水道水を與へてはならぬ隨分水が祟り出したものだ（水神）

▲每日質見生に御答申す、米倉町市場は治外法權にあらず十五六年前の政治標本として廢つて居る所と存す何故なるかと申せば市場附近を觀察して見給へ藥果徵發も古例の通り行はれ居るではないか（質見生）

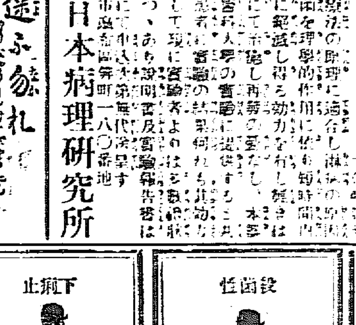
▲先月の事支那人部落に住む何某が親の財產横領の目的を以て親の實印を盜み大阪生れ某代書屋に相當のコンミツションを遣し親の同意を得てを家督相續爲すかの樣に見せかけ手續をさせ裁判所へ提起しまんまと横領し居たが此程親に知れ世間體を繕ひ推定家督相續人廢除の取消を裁判所へ請求して居るさうな廢除の理由は民法第九百七十五條第三項、家名に汚辱を及ぼすべき罪に由りて刑に處せられたる事これに因ると息子さんは刑法に觸れた前科者である事が明る（橘六汰口生）

治淋上の一大發明……

りん病は加熱療法に限る

諸博士實驗證明

●全治者續々報告 頑固なる淋病は從來のありふれたる療法にては容易に根治し難し、本器は之が原因療法として學者が多年研究の結果發明せるものにして [illegible]



ハガキにて申込次第說明書及實驗報告書は無代進呈す 東京市麴町區飯田町一八〇番地 日本病理研究所

迷ふ勿れ 腦病神經病者よ

島村醫學博士有効證明の健腦丸は幾多の患者が實驗して其偉効に驚く唯一の腦病神經衰弱諸症の最適藥である。

常用すれば逆上を引下げ便通を快し記憶力を增し中風卒中を未然に防ぎ危險な腦充血を治す。

かゝる時腦病を自覺せよ！
一、逆上し頭痛耳鳴眩暈起る人。
二、神經痛み仕事手に着かぬ人。
三、頭腦に重き物被る心地の人。
四、便秘又夜分眠られざる人。
五、頭腦花こし記憶健忘の人。
六、事務執るも直に疲勞する人。
かゝる兆候起る時スグ健腦丸服用を怠る勿れ
價（四回分二十錢、半週分四十錢　一週間分七十錢、十週分五圓二十錢送）
大阪市平野町　丹平商會
大阪心齋橋二丁目　丹平藥房
東京日本橋筋屋町　丹平商會支店
▲賣捌は全國有名藥店に取次す

衛生必携品 ルーデサック
弊店發賣の品は他店の如き廣告品と異り品質を以て至て確實山師的に暴利を貪る者と異り永久に責任を負ふ
A十二個四十錢　B八十個六十錢
廿五錢以上郵券代用一割增　外に要送料
代金引替 京城黃金町三　振替京城二二七番　山田文殊堂藥房

何人でも一度御試飲あれば必ず……一生涯御常用になるは
美味滋養 蜂印香竄葡萄酒
の生命と眞價なり――！
凡そ常用者の忘るべからざる欣快は
■毎朝の一杯は……精神を爽にし元氣を增す
■毎晩の一杯は……疲勞を慰め睡眠を助く
斯くしてますく健康の人となる!!
東京日本橋本町 近藤利兵衛

殺菌性

下痢にヘルプ
●下痢病は多く、不消化と黴菌作用より起る、故に下痢止藥は
●消化と殺菌力の絶大なるヘルプを用ゆるが最も安全也

下痢止

旅行にヘルプ
▲旅行にヘルプを携帯せよ ▲船中下痢が起つても ▲汽車中腹が痛んでも
▲旅宿で食傷した時も ▲途中で醫者が無くても ▲安心して手當が出來る

最新最良の模範的家庭備常藥質

吾が家庭藥は、現時世界に存在せる有らゆる家庭藥の處方を集めて愼重審密に參考し、獨乙ベルリン醫科大學及び吾が國帝國醫科大學諸教授を始め、世界の醫藥學大家、六十三大博士の學說を根據として研究創製せる最新最良の理想的家庭常備藥である。

下痢の烈しい時、便通の無い時、胸の惡い時、腹痛の起つた時、腹中に蟲が生じた時、寒冒を引いた時、頭痛、眩暈のする時、熱病に罹つた時、眼や手足、腰などの痛み出した時、火傷をした時、怪我をした時、傳染病の流行時などに、完全なる家庭藥の有ると無いとは、實に一家安危の岐るゝ處です。

疾病の治療は初期に限るので、初期の治療を怠るが爲に、輕症なる氣管支加答兒の程度に於て治癒し得る感冒をも、肺炎にまで進ませて、惡き狀態に至る例は往々あります。初期の手當の一寸と藥匙は末期の治療の百倍にも勝るのです。

されば、作用の確實なる効力の一定不變なる、最も信賴し得る吾が家庭藥を常に備へ置かれ、急に應じ得る樣御用意の程を切に御勸め申します

藥價は如何なる家庭にも缺くべからざる、內用藥五種、外用藥三種都合八種一組壹圓七拾錢の正價を以て諸彥の御要に應じます 尚ほ詳細は本月十六日京城日報夕刊を御一覽下さい。

京城南大門外停車場通 ドラッグ商會家庭藥部 電話二五六七番・振替京城四六七番

京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入） 堀佐營業所（電話六三九番）

內科 小兒科 入院隨意 京城日出小學校前 多々見醫院 電話九四〇番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
株式會社 百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目 電話長五八番二一九四番 振替貯金京城一一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

大邱浦項間自動車時間

上り	一番	二番
浦項發	前六、三〇	後一二、四〇
安康同	七、二〇	一、三〇
慶州同	八、〇五	二、一五
阿火同	九、〇〇	三、一〇
永川同	九、一七	四、一七
河陽同	一〇、一七	五、〇七
大邱著	一一、〇〇	六、〇〇

下り 大邱發　河陽同　永川同　阿火同　慶州同　安康同　浦項著 [illegible]

浦項 電話七番 大塚農場自動車部　大邱出張所 電話一一七番

大阪商船仁川出帆
○外航航路（淺川航路を除く）兩航の時は五分引にて往復切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶大阪行　須磨丸 八月一日 後五時出
安東丸 七月廿七日　天智丸 八月四日
×鎭南浦、龍岩浦、安東縣行　滄州丸 七月廿五日 後二時出
○木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行　信濃川丸 八月廿七日 後二時出
×南浦、關門、神戶、大阪行　須磨丸 七月　日 後一時出
×鎭南浦、大連行　信濃川丸 八月廿二日 後一時出
○大連直行　日米丸 七月廿八日 正午出帆
○群山、神戶、大阪行　福州丸 八月　六日 後五時出
○群山、釜山、橫濱行　宮島丸 八月十二日 後二時出
○日米丸、福州丸　八月三日
△清津、浦潮行（元山出帆）、城津、西湖津、寄港浦潮不寄港　後二時出
△安平丸 八月十三日 後二時出
▲上海、基隆、打狗行（大連出帆）　宮島丸 八月十二日 後六時出
○湖北丸 八月卅一日 前四時出
一 城津丸
御注意 ○航鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆一時間前迄に御乘船の御勸り
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番・二二〇〇番 內國通運會社支店
▲中國西國沿岸各港行割引切符發賣仕候

朝鮮郵船出帆
京城南大門驛前 松原運送店（電話長一七〇番）
全羅丸 八月十一日
京畿丸 七月卅一日
黃海丸 八月四日
成鏡丸 八月十四日　釜山發
穩城丸 八月一日
昌平丸 七月三十日
鏡城丸 七月廿六日　元山發
忠淸丸 八月十一日
平壤丸 八月四日　元山發
永興丸 每月廿八回　元山發
蜜德丸 八月二日　釜山發
江陵丸 每日　浦項發
襄陽丸
三浦丸 七月三十日　釜山發
濟州丸　每日
統營丸 ○慶濟丸　每日
順天丸 三日目每に　木浦發
公州丸 七月廿六日　木浦發
慶興丸 八月三日　木浦發
慶興丸 七月　日　木浦發
宗信丸 八月廿九日　仁川發
江原丸 七月廿八日　仁川發
麗水丸 八月一日　仁川發
習州丸 八月五日　仁川發
錦江丸 每日午前　仁川發
南陽丸

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
君が代丸 七月　日 後四時出帆
大有丸 八月一日 後四時出帆
神代丸 八月七日 後四時出帆
秀吉丸 七月廿八日 後四時出帆
仁川港岸通一 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽牛莊行
相模丸 八月六日 正午出帆
高砂丸 八月十六日 正午出帆
三河丸 七月廿一日 正午出帆
仁川港岸町 電話十番 堀回漕部

仁川代理店 本町一丁目（電話二〇八番）阿波國共同汽船株式會社
元山代理店 春日町（電話二四七番）山下回漕部
京城取次店 南大門（電話二八〇一七）田口回漕部
河村運送店

共同汽船仁川出帆
○西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸　月　日後九時出
第一阪鶴丸　月　日前八時出
共同丸 七月廿八日後四時入港 七月三十日前十一時出
○阿波國共同汽船株式會社
○城津、淸津、浦潮行（元山出帆）
○天眞丸 每月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
本邦取扱店 大池回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行　日後五時出帆
○元山、城津、淸津、浦潮行　日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行　日後十時出帆
○小倉丸　日後五時出帆
○元山、城津、浦潮行
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行　日後六時出帆
○第二三峯丸
○門司、宇品、神戶、大阪行　日後六時出帆
○第三金平丸
○住吉、釜山、嚴原、壹岐、博多行

商況

下關期米特電

[illegible]